

平成 27 年度
— 第 30 回 —

精選

ふるさと

手づくり郷土賞

一般
部門

大賞
部門



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure and Transport

平成27年度 手づくり郷土賞

Part 30

手づくり郷土賞について

4

第30回記念「手づくり郷土賞」公開審査会

6

講評

全体講評	10
選定委員講評	11

大賞部門

1 “空の波打ち際”の創造～大空に一番近いまちづくり～ 北海道滝川市	14
2 葛西親水四季の道 東京都江戸川区	16
3 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 新潟県十日町市	18
4 清水港・みなと色彩計画 静岡県静岡市	20
5 竹の径・かぐやの夕べ 京都府向日市	22
6 エコシティ福岡をめざして「水と緑とまちづくり」 福岡県福岡市	24
7 市民の手づくりによる賑わいの創出～水郷ひた豆田地区（千年あかり） 大分県日田市	26

一般部門

1 皆でつくろう！手作り魚道－魚がのぼり、笑顔ひろがる－ 北海道網走郡美幌町	28
2 流氷を活かすオホーツク流儀のおもてなし活動 北海道斜里郡斜里町	30
3 癒しの溪流づくり ～生保内川の自然と防災～ 秋田県仙北市	32
4 最上川フットパス ～かわからまちへ、まちからかわへ～ 山形県長井市	34
5 鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！ ～お花畑から広がるつながりの輪～ 茨城県筑西市	36
6 花と緑と笑顔にあふれる街づくり ～小平グリーンロード～ 東京都小平市	38
7 和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり 石川県七尾市	40
8 清流長良川漁場の再生への取り組み 岐阜県郡上市	42
9 東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷掘り抜き」を後世に…～ 滋賀県東近江市	44
10 商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル 京都府長岡京市	46
11 桜が教えてくれたカタクリで地域づくり 福井県大野市	48
12 鳴り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト 鳥取県琴浦町	50
13 協働による花と歴史と安らぎの郷づくり ～街道が蘇れば人も地域も元気になる～ 山口県下関市	52
14 酒蔵とともに歩むまちづくり 佐賀県鹿島市	54
15 道路美化活動から始まった地域おこし ～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった！～ 長崎県西海市	56

資料編

年度別テーマ一覧	58
選定案件一覧	60

ふるさと 手づくり郷土賞

■ 大賞部門

■ 一般部門



1皆でつくろう！手作り魚道
—魚がのぼり、笑顔ひろがる—



1“空の波打ち際”の創造
～大空に一番近いまちづくり～



3癒しの溪流づくり
～生保内川の自然と防災～



4最上川フットパス
～かわからまちへ、まちからかわへ～



3大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ



7和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり



11桜が教えてくれたカタクリで地域づくり



10商店街から発信する住民主体の
シティプロモーションモデル



12鳴り石の浜を舞台にしたまちの
活性化プロジェクト



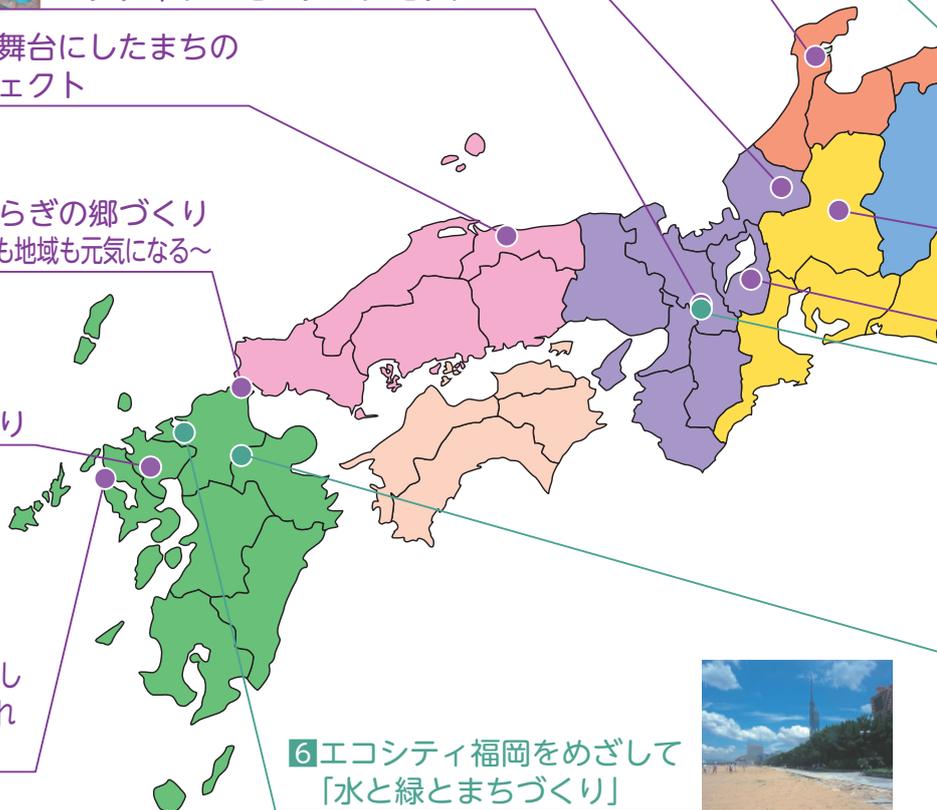
13協働による
花と歴史と安らぎの郷づくり
～街道が蘇れば人も地域も元気になる～



14酒蔵とともに
歩むまちづくり



15道路美化活動から始まった地域おこし
～廃校グラウンドが環境農園に生まれ
変わった！～



6エコシティ福岡をめざして
「水と緑とまちづくり」





2 流水を活かすオホーツク流儀のおもてなし活動

5 鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！
～お花畑から広がるつながりの輪～

6 花と緑と笑顔にあふれる街づくり
～小平グリーンロード～

2 葛西親水四季の道

4 清水港・みなと色彩計画

8 清流長良川漁場の再生への取り組み

9 東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷掘り抜き」を後世に…～

5 竹の径・かぐやの夕べ

7 市民の手づくりによる賑わいの創出
～水郷ひた豆田地区（千年あかり）～



手づくり郷土賞について

「手づくり郷土賞」の背景 および目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成27年度で30回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

地域の魅力を創出している、社会資本※及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、なお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門にて実施しました。

※原則として社会資本は国土交通省が所管するもの

「手づくり郷土賞」の 選定対象

◆「手づくり郷土賞（一般部門）」

（募集対象）

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果
（選考のポイント）

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての

創意・工夫（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等）

- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等）
- ③地域づくりへの成果及び波及効果（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等）
- ④今後の活動の継続性・発展性（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等）
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他（上記以外の特に優れた内容）

◆「手づくり郷土賞（大賞部門）」

（募集対象）

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果（たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など）を対象とします。

（選考のポイント）

一般部門のポイントに加え、大賞部門においては以下のポイントも重視します。

- ⑦社会資本の地域への定着状況（地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している等）
- ⑧活動の継続状況（規模を広げながら着実に継続している等）
- ⑨活動の発展状況（新たな取組を創出している、他地域へ波及している等）

募集方法と選定

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団



体（都道府県、市区町村）との共同で応募するもの
とします。地方整備局等で受け付けた応募資料をも
とに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委
員会による厳正な審査をした上で成果を選定しま
す。

また、平成27年度においては、第30回という節
目の年であることから、「手づくり郷土賞（一般部
門）」については、応募団体から活動をプレゼン
いただき公開審査により選考を行いました。

選定結果

平成27年8月から10月にかけて募集を行い、全
国から「手づくり郷土賞（一般部門）」に38件、「手
づくり郷土賞（大賞部門）」に12件、合計50件の
応募がありました。

平成27年12月に開催された「手づくり郷土賞選
定委員会」、また、翌年2月に開催された「第30回
記念手づくり郷土賞公開審査会」では、各選定委員
により様々な観点から選考が行われ、「手づくり郷
土賞（一般部門）」に15件、「手づくり郷土賞（大
賞部門）」に7件、合計22件が選定されました。

認定証の交付

受賞団体には、各地方整備局長などを通じて、認
定証が授与されるとともに、副賞として盾が贈呈さ
れます。

第30回記念 「手づくり郷土賞」公開審査会

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞 30年間の歩み

昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」は、平成27年度で30周年となる節目の年を迎えました。

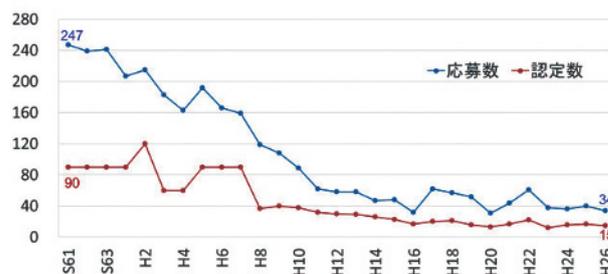
30年という月日の経過とともに、時代の要請に応えながら、表彰制度そのものも少しずつ変化してきました。昭和61年度の創設当初は、募集対象を「地域の魅力を創出し、又は地域のシンボルとなっている各種の良質な社会資本」としていました。その後、平成13年度には、「地域の魅力等を創出している社会資本と関わりのある活動」を対象に加え、これまで対象としていた社会資本に加え、新たに地域活動が募集対象となりました。更に、平成20年度からは、募集対象を「良質な社会資本及びそれと関わりを持つ良質な地域活動」として、以後、現在に至るまで、社会資本と地域活動の一体的な成果を募集対象とした表彰制度となっています。

表彰制度の変遷

年度	主な改定内容
昭和61年度	手づくり郷土賞 創設 ※創設当初は、社会資本そのものが対象 ※テーマを設定して募集 (例：ふるさとが誇りとする橋 etc)
平成13年度	募集区分を「地域整備部門」と「地域活動部門」の2部門制に移行（新たに地域活動が募集対象）
平成17年度	大賞部門を創設（既に表彰を受けた受賞案件のうち更なる発展があるものを表彰）
平成20年度	「地域整備部門」と「地域活動部門」を「一般部門」に統合し、募集対象を社会資本と地域活動の一体的な成果に変更

このように月日の経過とともに表彰制度も少しずつ変化を重ねてきましたが、一方で、手づくり郷土賞の応募件数に着目すると、創設当初は約250件あったものが、ここ数年は約40件前後で推移しています。人口減少や過疎化が社会問題となる中で、このような地域づくり活動が核となり、地域・ふる

さとの活性化を図り、地域の社会資本を適切に維持活用していくことが、益々重要になってきています。



手づくり郷土賞の応募数と認定数の推移

公開審査会の導入

これまでの手づくり郷土賞受賞案件の選定は、選定委員会による、応募書類に基づいた非公開の審査により行われてきましたが、平成27年度はその方法を見直すこととなりました。

これまでの書類審査は、審査における応募者の負担が少なく、委員それぞれが忌憚のない意見交換をして審査に集中できるというメリットがある一方で、書類審査のみでは、活動の詳細や応募者の熱意がわからないという課題が指摘されていました。また、応募団体にとっては、応募案件のどこが良かったのか、また悪かったのかが分からず、今後の発展につなげにくいという課題もありました。

このことから、平成27年度は、30周年という節目の年を記念し、一般部門に限り、これまで非公開の書類審査で行ってきた選定委員会に代えて、公開審査会にて受賞団体を選定する取組を試行的に導入することとなりました。

加えて、手づくり郷土賞の目的である「優れた地域活動を（中略）好事例として広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されること」という広報面についても、公開審査会の開催により改善を図りました。

公開審査会の狙い

- ・ 選定プロセスを公開し、選定の透明性を図る。
- ・ 応募団体によるプレゼンや質疑を取り入れ、書類では分からない活動の詳細や熱意を肌で感じる。
- ・ 応募団体、選定委員のみならず聴講者も含めた交流により、互いに学び合うとともに、審査会そのものを広報の場として活用する。

公開審査会の実施

公開審査会の概要

日時：平成28年2月20日（土）10時～17時

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール(東京都目黒区大岡山2-12-1)

参加団体：一次選考を通過した応募団体全29団体

来場者数：145名(応募団体、またその随行者含む)

公開審査会の流れ

1. 開会挨拶

齋藤委員長から開会挨拶をいただきました。

2. ルール説明

総合政策局の佐藤事業総括調整官がファシリテータを務め、ルールや注意事項を説明しました。

公開審査会のポイント

<選定委員>

- ・ 自らも応募者から情報を得、学ぶという姿勢で望む。
- ・ 議論や審査では、後戻りや批判をすることなく、前向きに、長所を評価する加点方式とする。

<応募団体>

- ・ 他の活動団体とも大いに交流する。
- ・ 討論では、自らの団体のPRではなく、他の団体の優れたところなど、前向きな発言を。



委員長挨拶



ファシリテータによるルール説明

3. 応募団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)をしていただきました。プレゼンテーションでは、工夫を凝らした衣装やパフォーマンスを取り入れた団体もあり、会場を大いに盛りあげていただきました。



チームアゼリアのプレゼンの様子



鬼怒川を愛する会のプレゼンの様子

4. 審査（投票⇒討論⇒投票）

すべての団体のプレゼンテーションを終えた後に、選定委員による1回目の投票を実施し、その結果を踏まえて、選定委員や会場の参加者で「きらりと光るものが何か」意見交換を行いました。意見交換の後に、2回目の投票を行い、最終的な受賞団体を決定しました。選定委員には、投票を行うにあたっての審査のポイント・観点について、フリップボードを活用して解説いただきました。



討論の様子

5. 記念撮影

参加いただいた応募団体、選定委員の皆さんで記念撮影を行いました。



記念撮影①



記念撮影②

Facebookページによる活動紹介

公開審査会の開催にあたり、参加者や関心のある方に少しでも応募団体の活動を知っていただくため、Facebookページを立ち上げ、事前に各団体の活動PRを掲載しました。また、当日には公開審査会の様子を発信しました。

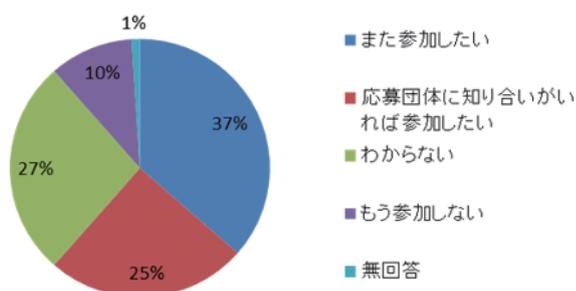
公開審査会を終えて

公開審査会では、今後の表彰制度をより良いものにするために、応募団体を含む参加者にアンケートの協力をいただきました。アンケートでは、「今後も続けて欲しい」といった前向きなご意見があった一方で、「従来通り書類による審査が良い」といったご意見もいただきました。

公開審査会を終えて、改善点も多数見つけましたが、「また参加したい」、「続けて欲しい」といった声も多数いただきました。

〔アンケートの結果〕

- 「来年度も公開審査方式を取り入れる場合、また参加したいか。」



○自由意見

- ・今回の討論はいろいろな意見が聞けておもしろい企画であったと思います。他でやっている内容を聞いたというのは良い起爆剤になるのではないかと思います。
- ・他団体の活動内容を知るうえで紙と発表会では大きな差があると思うので、この取組は続けてほしい。
全国で行なわれている活動が紹介されるすばらしい会でした。
- ・大賞部門も公開審査会をしてはいかがでしょうか。
- ・書類審査をしっかりとって評価する例年の方式が好ましいと思われる。
- ・自信を行っている活動を点数で評価されることは良くないことと思う。

今後に向けて

今回の結果を踏まえ、平成28年度には、方針を以下のように見直し実施します。

- 書類審査において、受賞を決定する。
- 受賞団体の発表会を開催し、発表会でのプレゼン

テーションを踏まえて、受賞団体の中からグランプリを決める。

- 審査のプロセスは非公開とする。

手づくり郷土賞は、その表彰制度により、全国各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目的としています。今後、手づくり郷土賞が、地域で個性的な工夫を凝らし、汗を流しながら活動をされる団体にとって、有意義な表彰制度となるように、更なる改善を図っていきます。

全体講評

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞は、昭和61年度に創設以来、今年度で30回目を迎えております。今年度も、全国各地から、数多くの優れた取組の応募がありました。各々の地域を良くしていこうという想いが伝わってきて、甲乙付けがたいものばかりでした。

地域活動を通じ、かつての賑わいをとりもどしたものの、新たに地域資源を再発見し活動に役立てたものなど、多様で多彩な地域づくり活動が見受けられました。

現在、本格的な人口減少社会が到来し、自然、社会、文化等の面で多様性に富んだ我が国の国土を構

成する各地域が、それぞれの個性と価値を改めて自覚し、これを深めていくことによって、人々が地域への誇りと愛着を強めていけるようにすることが必要であります。手づくり郷土賞を受賞した団体および地域は、まさにこれを体現しているのではないのでしょうか。

今後も、受賞された団体および地域においては、活動の継続および更なる発展にご尽力いただくとともに、本賞の選定事例を全国に広めていくことによって、各々特徴ある地域づくりが進んでいくことを、選定委員会一同期待します。

第30回「手づくり郷土賞」選定委員会

【委員長】	齋藤 潮	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
	荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー
	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
	田中 里沙	株式会社宣伝会議 取締役副社長 兼 編集室長
	平野 龍平	富士急行株式会社 交通事業部 兼 グループ事業部 プランナー
	森反 章夫	東京経済大学現代法学部 教授
	毛利 信二	国土交通省総合政策局長

選定委員講評

齋藤 潮 委員長

27年度は二次審査を公開で、というお話が持ち上がったときには、個人的には抵抗がありました。申すまでもなく、「郷土賞」は勝ち負けを競う性格の表彰制度ではなく、地元を良くしようと努力と工夫を重ねている人たちを讃えようという趣旨の制度です。それでも受賞枠には限りがあるから、どうしても当落が起こる。公開にすれば悲喜こもごもの状況を互いに見ることになる。これは辛い。審査する方も着目の適格性を試されるわけで相当のストレスでした。それでもまあ、なんとか収拾に至ったのは、偏に、応募された皆さんのお人柄だと申せましょう。それを再確認するような公開審査でした。地元をまとめて来られた実績も、こうしたお人柄の上にあるのだと痛感しました。

今回、個人的に印象に残ったのは、高校生の応募2件です。一方が調査を、他方が設計を中心とした活動で、どちらも、大人達に付き合わされているのではなく、主体的に地元に関与しておられた。すばらしいことだと思います。こんな経験ができる高校生は日本にそう多くはないでしょう。「手づくり郷土」という賞の語感が当落を分けたとも言えましょうが、それはその限りであって、本質的に優劣があるのでは決してありません。どちらの活動も、ぜひ後輩諸君に繋いでいってほしいと思います。懇親会で生徒さんとじっくりお話をしたかったのですが、残念ながらそのタイミングを逃してしまいました。わが大学に入学してくれないかなあ。

荻原 礼子 委員

今年は郷土賞30周年記念で公開審査を行いました。全国から集まったみなさんの熱い思いに触れ、それぞれの郷土の資産を守り活かそうという人の輪から生まれた風景こそが人の心を打つのだと、改めて知ることができました。公開審査会にご参加いただいた皆様に、深く感謝いたします。

審査の中では、私としては出来上がったモノだけでなく、どのように地域の様々な人や官民が力を合わせ知恵を出し合ったか、そこから生まれた独創的なアイデア、またそれを維持し続ける努力を見たいと思いました。今年を受賞した取り組みはどれも、そのプロセスの結果として、その地域ならではのステキな場所を生み出すことに成功しています。

公共事業＝コンクリートで工事をする、という時代は終わりました。まちづくりの中でつくったものがどう愛され守られるか、それにかかわる人の輪をどうつくるかのヒントがこれまでの受賞プロジェクトにはたくさんつまっています。

今後もこの賞が、このような事例を全国で紹介する場となり、タンポポの綿毛のように全国に広がっていくことを念じています。



関 幸子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域の方々に心よりお喜び申し上げます。郷土賞選定は毎年どのような取り組みが上がってくるか楽しみでもあり、その作業は実は大変気を遣うものです。いずれの地域も自治会、NPO、学校等高齢者から子供たちまで幅広い方々が参加されているとともに、非常に長い時間をかけた取り組みであり、評価が難しいと感じる場面が多くあります。今年は公開審査の場が設けられ、直接お話を聞くことができました。緊張もありますが、文章では分からなかった事業の出発点、動機や情熱が伝わってきて、貴重な時間となりました。

今年も地域資源を活かした河川活動、花や森を育てる地域再生事業、健康増進を目指した活動、景観や文化を守る観光事業等幅広い事業が受賞されました。日本は今後、人口減少と高齢化が進む中で、地域を守り育むのは地元の住民であり、自主性をもって自律的に取り組むことが重要となってきています。「ローカルファースト」という地域の目線で地域が自ら考え行動することが不可欠です。この手づくり郷土賞が、地域での多様な連携や協働事業が進むきっかけをつくり、参加された方々の誇りとなることを願っています。最後に、受賞されました地域のますますのご活躍と発展を祈念いたします。

田中 里沙 委員

各地に存在する地域資源は規模も歴史も状況も多様ですが、そのまま価値を打ち出せるものは多くありません。住民の目が向けられ、手が加えられ、息が吹き込まれて初めて輝くところとなります。今年初の試みとなりました公開審査会において、社会資本を整備し、より楽しく、魅力的なものに成長させている担い手の方々の日々の活動に触れ、それらは地域の人々の生活の一部になっていくのだと実感できました。対象となる場所に立ち、議論をすることで、子供から大人までの考え、心配事、理想、希望といった情報が集積されて、新たな知財が築かれているようです。自分を取り巻く環境をより良くすることは楽しいですし、他者の創意工夫やアイデアに触発されることは大きな喜びになります。目に見える成果もあれば、形にならない実績もあります。活動のプロセスそのものが創造的であり、人を引きつける装置になっている点が、手づくり郷土賞の魅力なのだと思います。

地元の方が楽しそうに取り組み、提供されるイベントに参加をした地域内外の方は、主催者の“熱量”を感じ、気持ちも盛り上がります。“巻き込み力”が伝播して、人と社会資本がきらめいていく過程を見せていただきました。

平野 龍平 委員

言うだけで何もしない人が多い世の中で、行動を起こして継続することこそ、価値があり、成果は後からついてくるものだ。ただ一心に、故郷や地域をよりよくしようと取り組んでおられる参加者の皆さんの志は、尊く、光り輝いて見え、頭が下がる。そんな方々を自分のような若輩者が選考するのはおこがましく、ましてや、賞の選定のために順位を付けるなんて、失礼千万であるが、お引受けした以上、本賞の目的と選定ポイントに基づき、数少ない経験や知識を頼りに、迷った場合、書類選考では、その活動を見に行きたいか、審査会では、プレゼンをされた皆さんに会いに行きたいか、という観点で最終判断をした。

現場も見ないで選定するのは、どうかと思うが、経験上、素晴らしい活動の担い手は、どなたも魅力的だ。各団体、僅か3分でも、書類だけではわからない、担い手の皆さんの熱意やお人柄、背景などが伝わってきて、胸を打つプレゼンも多々あった。会場で想いを共有したり、懇親会では、人的交流もできたので、初めての試みとしては、有意義な公開審査会だったと思う。

今後の課題は散見したが、改善を重ね、地域活動の輪を拡げる、より素晴らしい賞・審査会に発展させて頂きたい。

本会での素敵な方々との出会いに心よりの感謝と、参加された皆さんのさらなるご活躍、活動のご発展を祈念申し上げます。

“空の波打ち際”の創造 ～大空に一番近いまちづくり～

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

1 社会資本の概要

たきかわスカイパークは、昭和56年の集中豪雨による洪水被害状況を当時の市長が空から視察したことをきっかけに、青少年に大空の夢を与えるという社会教育的見地から、平成5年、グライダーの離発着に必要な広大な敷地と上昇気流が得やすい地形・気象条件に恵まれた滝川市の石狩川河川敷地に



広大な石狩川河川敷に広がる、日本でただ一つの本格的な航空公園。いつでも誰もが自由に空と触れ合える「空の波打ち際」



地域住民に大空の夢を育ませる市民体験飛行会

整備されました。

グライダーの飛行訓練や体験飛行のみならず、気軽に立ち寄り空を舞うグライダーを眺めたり、操縦席に乗り込んだり、各施設を利用して知的欲求を満たすことができるなど、いつでも誰でも空を身近に感じることでできる日本でただ一つの本格的な航空公園です。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

たきかわスカイパークでは、愛好者を対象としたフライト事業のほか、小学校の「総合的な学習の時間」において、グライダー体験授業を導入したり、グライダーの体験飛行を観光プログラムに取り入れるなど、航空教育活動や観光活用事業を行っています。

また、ドクターヘリの常時受入れや、消防、警察、近隣自治体と協定を締結し、日常の飛行活動の中で

スカイパトロールを行う航空防災活動などの先進的な取組、体験飛行をふるさと納税の返礼品とするユニークな取組も行っています。

航空機材を活用し、地域に根ざした積極的なまちづくり活動を実施することにより、たきかわスカイパークには年間3万人が訪れるなど大空に一番近い場所として地域住民に親しまれています。



「総合的な学習の時間」を活用した小学生のグライダー体験授業。自分のまちを「鳥の目」で眺め、新たな視点で学習に活かします



ドクターヘリの常時受入れや、スカイパトロールを行う航空防災活動



日本一の作付面積を誇る菜の花畑とグライダーを組み合わせた観光活用事業



北海道滝川市

公益社団法人 滝川スカイスports振興協会 / 滝川市

3 活動の成果や波及効果等

全国有数の飛行実績と全国一の飛行体験者数（H25実績：1,832人）を誇り、「滝川＝グライダーのまち」としての全国的に認知されました。

特にグライダーの観光活用事業においては、観光体験飛行が大きく伸び、東アジア観光客をターゲットとしたフォトウェディングなどのツアーを実施しており、今後も海外観光客の誘致には需要の拡大が見込まれます。



東アジア観光客のフォトウェディング

4 前回受賞時からの活動の発展内容

地域住民、会員、全国及び海外からのボランティアスタッフの積極的な登用により、高い専門性を必要とする事業展開においても人材不足に陥ることなく安定した運営を行っています。

また、北海道内4つのスカイスports団体が共同でパンフレットを作成し、国内外の観光客を回遊させる取組を行うなど、観光面での広域連携の動きを強めています。

喜びの声



受賞者

公益社団法人滝川スカイスports振興協会
会長 中島 健

コメント

愛好者のみならず、市民や一般の方向けの事業にもバランスよく取り組んできたことが高く評価されたことをうれしく思います。今後も運航の安全を第一に、「空の波打ち際」のコンセプトの下、各種事業を充実させていきたいと思っております。

活動内容

愛好者フライト事業、航空教育、航空防災、観光活用事業 など

活動の経緯

昭和56年 洪水被害状況視察
平成 2年 滝川スカイスports振興協会設立
平成 5年 スカイパーク供用開始
平成23年 公益社団法人に移行

所在地

北海道滝川市中島町地先 石狩川河川敷

活動主体及び連絡先

公益社団法人滝川スカイスports振興協会
(0125-24-3255、22-2976)
HP : <http://www.takikawaskypark.jp/>

対象となる社会資本

たきかわスカイパーク
※管理者：滝川市



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

葛西親水四季の道

1 社会資本の概要

昔から水との深い関わりをもってきた江戸川区では、下水道の整備によって不要になった水路跡地に、失われた自然を取り戻し、水に親しめる憩いの場をつくる親水計画を進めてきました。「葛西親水四季の道」は、この親水計画を都市化された街並みの中の限られた生活道路空間に取り入れ、かつて水上交通路として栄えた長島川は葛西地区を南北に縦断す



川魚の放流

る水と緑のネットワークとして生まれ変わりました。2,100mにもおよぶ散策路には桜並木、花や木、そして、彫刻等も設置されています。

また、魚の泳ぐ小川や浄化設備を備えた水遊びの池、4カ所の子供広場なども設置されており、地域の貴重なコミュニケーションの場として多くの人々に利用されています。



地域住民による清掃活動

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当団体は、平成3年、第1回葛西「四季の道」新田地域ふれあいフェスティバル開催時に実行委員会を組織していた新田町会と近隣の5つの自治会から、会の発足の声が上がリ、近隣小中学校PTA・くすのきクラブを加え発足しました。

以降、5月「春の一斉美化運動」、6月「川魚の

放流」・「四季の道清掃活動」、11月「秋の一斉美化運動」、などを行い、25年間にわたり地域のために多大な貢献をしてきました。

現在、公園ボランティアとしても活動しており、いつでも誰でも楽しく快適に利用できる場となるよう、行政と協働で清掃活動に取り組んでいます。



小学生による米づくり体験



夜間パトロール



東京都江戸川区

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会／江戸川区

3 活動の成果や波及効果等

当団体は、川魚の放流（金魚、ウグイ、カニなど約1,000匹）、沿川の清掃活動、清掃用具の授与などの活動を25年間にわたり行っていきます。大人から子どもまで世代を超えて多くの人々が、この葛西親水四季の道での活動を通じて地域に郷土を感じています。また、当団体は町会や小中学校PTA等（約17,000人）で構成されていることもあり、地域コミュニティの活性化や地域の安全安心の向上において寄与しており、社会貢献として他の団体の模範となる活動を行っています。

4 前回受賞時からの活動の発展内容

この地域は以前は、のどかな田園地帯でしたが、急激な都市化により人口が急増しました。その結果、住民同士の関係が希薄となり、住民の地域への関心は薄れつつありました。

このことを憂いた当団体代表者の山岡氏は整備されたばかりの「葛西親水四季の道」に着目し、『葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会』を立ち上げ、地域住民が一体となった清掃活動や魚の放流等により、かつての葛西の原風景を再生し、新しいふるさとを慈しみ、地域を愛する心を育てる仕組みを構築するとともに、より強固な地域コミュニティを作り上げました。以降、約25年間にわたり活動を続けています。

喜びの声



受賞者

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会
会長 山岡 新太郎

コメント

この度は、手づくり郷土賞（大賞部門）という栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。

「継続は力なり」という格言がありますが、この度の受賞で継続することの重さを再認識することが出来ました。

今後も、清掃活動、魚の放流を通して、地域コミュニティの活性化を図り、未来の世代にこの素晴らしい環境を引き継いでいきたいと思えます。

活動内容

一斉美化運動、川魚の放流 など

活動の経緯

平成 3年 発足
一斉美化運動開始
川魚の放流開始
清掃活動開始
平成10年 小学校と米作り開始

所在地

東京都江戸川区東葛西2丁目～西葛西8丁目

活動主体及び連絡先

葛西「四季の道」「新長島川」水と緑に親しむ会
江戸川区 葛西事務所 (03-3688-0434)

対象となる社会資本

葛西親水四季の道
※管理者：江戸川区



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ

1 社会資本の概要

過疎と高齢化が進む日本有数の豪雪地。十日町市・津南町の越後妻有（えちごつまり）地域で2000年以来、3年に1度開催される現代アートの国際芸術展「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」を核とする地域づくりを行っています。

若年層の流出とともに、空家や空き店舗の増加、

耕作放棄地の拡大といった地域の課題に対し、現代アートを媒介に越後妻有の潜在的魅力を再発見し、自然や文化、ここで暮らす住民の営み全てを一つの美術館として再構成して発信する取り組みは、アートによる地域づくりの先進事例として国内外から注目を集めています。



作品「Kiss&Goodbye」は老若男女を問わず人気



大倉スノーシェッドを舞台に地元の人も出演

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「大地の芸術祭」が生まれた当時、アートを中心とする地域活性化を目指すことに、住民や6市町村議会のほとんどが反対でした。過疎や高齢化が進むこの地域では、現代アートそのものに馴染みがなく、批判が噴出しました。第1回展は開催予定を一年遅らせ、住民への説明会や各種会議などが合計2,000回以上行われました。

当初は作品制作に協力する住民は数えるほどしか

いませんでしたが、自分の孫のようなボランティアサポーター「こへび隊」が献身的に作品制作や作品説明をする様子を見ているうちに協力する住民が次第に増えてきました。住民と協働で制作される芸術作品、作品説明や来訪者へのおもてなし、さらにはパフォーマンスへの参加など、住民との関わりこそがこの芸術祭の最大の特徴であり、来訪者にとっても大きな魅力となっています。



ボランティアサポーター「こへび隊」と地元サポーター



地元のお母さんのおもてなしと地元食材による農家レストラン



新潟県十日町市・津南町

大地の芸術祭実行委員会 / 十日町市・津南町・新潟県十日町地域振興局

3 活動の成果や波及効果等

2000年の第1回から回を重ねるごとに来場者は増え続け、2015年に行われた第6回展では地域住民数の7倍を超える約51万人が芸術祭を楽しむためにこの地を訪れました。芸術祭開催年以外にも既存の作品を活用し、住民参加による企画展やワークショップなどを開催して「大地の芸術祭の里」のブランドづくりを行っています。



通年の取り組み「大地の芸術祭の里」

4 前回受賞時からの活動の発展内容

2010年度に手づくり郷土賞を受賞後、2012年開催の第5回での来場者数は約49万人、2015年開催の第6回では約51万人となり、越後妻有を訪れる人々は増え続けてます。参加集落も92集落（第5回）から110集落（第6回）に増加、サポーターも37名から152名と増加し、芸術祭を通じて地域を支えるネットワークも広がっています。

喜びの声



受賞者

大地の芸術祭実行委員会
事務局長 金澤 克夫

コメント

大賞を受賞をできうれしく思っております。大勢の方々のご支援の賜物と感謝しております、ありがとうございます。3年に一度の開催年はもちろんですが、「地域全体が美術館」のコンセプトのもと、いつでも楽しんでいただける取り組みを進めています。

2016年度は季節ごとの企画展・イベントを開催しています。8月6日～21日・10月の毎週土日・3月に楽しい企画をご用意していますので、皆様もぜひ遊びにいらしてください。

活動内容

大地の芸術祭 事務局運営 など

活動の経緯

2000年 大地の芸術祭 初開催
2003年、2006年、2009年
2012年 2015年 と開催
(次回展は2018年の予定)

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

新潟県十日町市及び津南町

活動主体及び連絡先

大地の芸術祭実行委員会
(事務局：十日町市産業観光部観光交流課)
(025-757-2637)

対象となる社会資本

越後妻有里山現代美術館[キナーレ]ほか圏域内芸術祭作品
トヤ沢砂防堰堤 ※管理者：十日町市、新潟県



清水港・みなと色彩計画

1 社会資本の概要

清水港は、世界文化遺産の富士山・三保松原の自然景観と調和した風景により、神戸港や長崎港と並び、日本三大美港の一つと評されています。東名高速、国道1号、JR東海道線と近接する好立地を活かし、平成25年には新興津コンテナターミナルが完成、超大型貨物船にも対応可能な高規格・最新鋭



日本三大美港の清水港

の機能が備わる国際貿易港として、県内及び中部日本経済を支えています。また、平成11年の開港100年を機に、清水港周辺には商業施設や博物館、文化施設が整備され、ウォーターフロントを活かした多彩なイベントの開催や大型クルーズ船の寄港地としても大きく飛躍しています。



国内有数の輸出港である清水港

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

清水港・みなと色彩計画は、平成3年に全国に先駆けて策定した色彩ガイドプランです。この計画は、工業地化し、市民が立ち寄れなくなった港湾空間に、生活機能を取り戻そうと女性グループ「レディズ・マリン・フォーラム」の提言の一つから始まりました。取組みの特長としては、「世界に誇れる美しいみなとまちづくり」をリードするシンボルカラー（アクアブルーとホワイト）を設定し、港湾機能ごとの空間イメージを定めた配色構成・全体計画により、清水港独自の景観づくりを進めています。また、推進体制として、産

学官民による協議会を設置、助成制度等がないため、計画当時は、地域の理解が得られず、実効性が危ぶまれましたが、施設や工作物の新築や増改築、塩害防止のための塗替えなどの維持管理時期を捉えた無理のない仕組みとしたことや、アドバイザーによるCGシミュレーション、配色指導等、きめ細かな運営体制を築き進めています。清水港の景観を共有財産として協働による参画型地域づくりを目指し、住む人、働く人、国内外から訪れる人達に産業活力と賑わい、憩いある共創空間づくりを展開しています。



清水港・みなと色彩計画ビフォー（紅白のガントリー）



清水港・みなと色彩計画アフター（アクアブルーのガントリー）



多くの地域関係者と共に認定証授与式



静岡県静岡市
清水港・みなと色彩計画推進協議会

3 活動の成果や波及効果等

計画策定から四半世紀、清水港を愛するみなさんの思いは、美しいみなと景観を醸成し、現在もその景観に厚みを重ねています。清水港はいま、世界から人が集まる国際文化交流拠点となりました。そして、住む人、働く人にとっても、美しく賑わいのある港は、誇りと価値を創出し、郷土愛を育む場となっています。



民間活力による賑わいあるみなとづくり

4 前回受賞時からの活動の発展内容

平成20年には、この計画を象徴する新たなランドマークとして、シンボルカラーに彩られた観覧車が建設されました。同時に清水港の賑わい拠点となる日の出地区が、地域の総意により、静岡市景観条例による景観計画重点地区に指定されました。この計画が育んだ景観づくりや賑わい創出への情熱は、時代を超えて「共創によるみなと文化」を築きあげ、これからも、その意志を受け継ぎ、進化していきます。

喜びの声



受賞者

清水港・みなと色彩計画推進協議会
代表 望月 薫
アドバイザー会議 座長 東 恵子

コメント

名誉ある大賞に認定されたことはこの上ない喜びです。殺伐とし市民の立ち寄りなかつた港への想いを集め、四半世紀の間、清水港の景観を共有財産とし、それぞれの立場、役割から心をひとつに取り組みました。共に歩んだ皆様に心から感謝申し上げます。次世代に港文化をつないでまいります。

活動内容

色彩計画によるみなとまちづくり

活動の経緯

- 平成 3年 清水港・みなと色彩計画策定
- 平成 4年 協議会発足
- 平成 5年 ガントリークレーン6基
～9年 日本で初のシンボルカラーによる塗替え
- 平成11年 清水港開港100周年
- 平成20年 清水港日の出地区
静岡市景観計画重点地区に指定
- 平成24年 大規模太陽光発電施設建設
～27年 企業の自主的な取組みにより
青色ソーラーパネルを採用

所在地

静岡県静岡市清水区

活動主体及び連絡先

清水港・みなと色彩計画推進協議会
(054-354-2432)
※功労者名：東 恵子

対象となる社会資本

清水港 及び その周辺
※管理者：静岡県（港湾管理者）静岡市



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

竹の径・かぐやの夕べ

1 社会資本の概要

風がおこす笹音や小鳥のさえずりをBGMに、木もれ日や香りを楽しむ「癒しの散策路」として親しまれている「竹の径（たけのみち）」は、向日市の特産品である良質の筍を生産している西ノ岡丘陵にあります。

道路の両脇に立つ竹垣は、竹の枝を約1.5メートル

の高さで束ねて並べた「竹穂垣」を始め、「古墳垣」「寺戸垣」「物集女垣」「かぐや垣」「来迎寺垣」「深田垣」「海道垣」の計8種類で構成されています。その情景は、見わたす限り真っ青に澄みきった空に、竹が割り込むかのようにそそり立ち、いつとき、喧噪からのがれて、ほんなりとした時を過ごすことができます。



竹の径



竹の径・かぐやの夕べの様子

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

西ノ岡丘陵の竹林は、良質な筍の産地として全国に知られていますが、放置竹林の増加が地域の課題となっており、不法投棄対策を含めた一体的な環境対策とあわせ、あらたな観光資源の創出など地域の魅力づくりを進める必要がありました。

「竹の径」の整備により、不法投棄が解消されるとともに、地域の人から親しまれる散策道だけにな

く、市内外からの誘客を図る観光資源となりました。

また、放置竹林を伐採した竹で製作した竹筒に水ろうそくを浮かべた約4,500本の竹行灯で彩るライトアップイベント「竹の径・かぐやの夕べ」を開催し、地域課題の解決と共に、にぎわいを創出しています。



かぐや姫の演出



協力団体より設置頂いた「灯ろう」



イベント時に市内の店舗が出店し地域をPR



京都府向日市
向日市観光協会 / 向日市

3 活動の成果や波及効果等

「竹の径・かぐやの夕べ」は、年々来場者が増加し、観光客の誘客に寄与しています。また、楽器演奏や手作り作品の展示等においては、様々な団体からの参加依頼があり、本市をはじめ隣接する京都市や各種団体が実施する他のイベント等との連携が進むなど、「竹の径・かぐやの夕べ」を基軸としたイベントの繋がりが生まれています。



ボランティアによる会場設営

4 前回受賞時からの活動の発展内容

前回（平成13年度）の受賞後も竹の径の整備を継続しており、平成16年度には総延長1.8kmの整備が完了しました。

整備完了後も、毎年保全・整備を続けており、竹垣の種類も前回の受賞時の4種類から8種類に増えています。

喜びの声



受賞者

向日市観光協会
会長 大塚 正洋

コメント

大変素晴らしい賞をいただきありがとうございます。

本観光協会は、向日市における地域産業の活性化と郷土愛の育成を図り、観光振興を通じて、まちづくりを推進することを目的に活動しております。

今後も向日市の魅力を多くの方に知っていただけるよう、市民や地域団体等と協力し、取り組んでいきます。

活動内容

観光イベント、PR など

活動の経緯

平成14年 設立
「竹の径・かぐやの夕べ」開催
平成26年 第7回ゆめづくりまちづくり賞受賞

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

京都府向日市物集女町長野、中海道、寺戸町芝山内

活動主体及び連絡先

向日市観光協会
(075-931-1111)

対象となる社会資本

市道1036～1038号、2084号、0054号
※管理者：向日市
(代表：075-931-1111)



エコシティ福岡をめざして 「水と緑とまちづくり」

1 社会資本の概要

シーサイドももち海浜公園は、福岡市が管理する人工の海浜公園で、多数の市民が集う都会的で賑わいのある海辺です。

国営海の中道海浜公園は、多様なレクリエーションニーズに対応し、広域の見地から設置された大規



シーサイドももち海浜公園（砂浜と松原）

模公園です。

国道202号国体道路は、福岡市の中心である天神を貫き、交通量が多く、様々な年代の人々が各地から訪れ、行き交う重要な国道です。



国道202号国体道路

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和62年に市民参加で松原復元活動を開始し、29年が経過した現在、松原は、福岡市民の憩いの場となり、玄界灘風景街道の景勝地に位置付けられ、緑の帯を形成しました。

国営海の中道海浜公園では、子供から高齢者、留学生や大学生、企業や市民、ボランティア団体などあらゆる分野の参加者による植樹を平成元年から実施。飛砂防止の松原として成長しました。

東日本大震災で消滅した陸前高田市の高田松原復元活動を始めた「高田松原を守る会」には被災直後から募金活動と松原復元のノウハウを提供し、高田

松原津波復興記念公園再生を応援しています。

平成24年度から国道202号国体道路において、安心・安全で快適な歩行空間や、花や緑で潤いのある街並みを創造しようと花いっぱい活動を開始。大学生や小学生、沿道住民や店舗に協力を依頼し、花植えと同時に違法駐輪調査や清掃活動を実施。ゴミゼロを達成し、放置自転車も激減しました。植栽帯やプランターが四季折々の花で彩られた歩道は、来街者ばかりではなく、地域住民からも親しまれる景観となっています。



松苗の植樹（海の中道海浜公園）



国道202号のプランター（駐輪対策）



福岡県福岡市
特定非営利活動法人はかた夢松原の会 / 福岡市

3 活動の成果や波及効果等

松の植樹と保全活動では、毎年楽しみに参加される家族や市民が約400人に上り、植樹本数は50,633本に達しました。

花植え活動では、開始から3年間で実施区間、活動日数、参加者、花苗数は飛躍的に増加し、大学生や小学生、地域住民や店舗などの参加でコミュニティが形成され、デザインや花苗の選別、手入れなど専門的知識を得て参加者の意識が向上しました。



小学生との植え込み作業

4 前回受賞時からの活動の発展内容

松の植樹個所は福岡市全域に拡大し、間伐や松葉かきなど松原維持と保育に努めています。

平成23年度から子供たちを中心に博多湾環境調査プロジェクトを開始。博多湾に生息する魚類や水質調査、ワカメの育成など大学生や漁業関係者の協力により実施しています。

平成24年度から国道道路花いっぱい活動で国道202号の安全・安心な歩行空間の確保と福岡市の中心市街地の景観形成を推進しています。

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会
理事長 磯谷 慶子

コメント

私共の長年の活動を高く評価してくださり「手づくり郷土賞 大賞」を授与していただき、誠にありがとうございます。

昭和62年、白砂青松の百道松原が埋め立てられ、人工海浜になったのをきっかけに歴史と文化を次世代につなぐため「浜辺に愛を植えよう!」と松苗の植樹を29年間続け、27年度で5万本を達成しました。

現在は、“水と緑とまちづくり”をテーマに活動のフィールドも川・海・都市景観など多岐に渡っています。

今回の大賞を励みに“つながっていく、続けていく”をモットーに、次世代によりよい環境を残すため、活動を広げて参ります。

活動内容

海浜地の植樹、市街地緑化 など

活動の経緯

- 昭和62年 設立
- 昭和62年 市民参加の松原復元を開始
- 平成元年 市民による植樹を開始
- 平成12年 NPO法人認可
- 平成24年 市街地緑化活動を開始

所在地

福岡県福岡市中央区大名1-2-15 GF SQUARE 大名4 F

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人はかた夢松原の会
(092-406-2369)

対象となる社会資本

シーサイドももち海浜公園及び博多湾周辺の海浜地、
国営海の中道海浜公園、国道202号
※管理者：福岡市、国土交通省九州地方整備局



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

市民の手づくりによる賑わいの創出 ～水郷ひた豆田地区(千年あかり)～

1 社会資本の概要

日田市は、古来より「水郷ひた」として知られ、また、交通の要衝でもありました。江戸時代にはその大半が天領として、九州の政治、経済、文化の中心地として繁栄しました。

天領町として発展した豆田町とその周辺は、伝統的な建物が群として良好に残っていることから、平成16年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

江戸期から大正期に建てられた居蔵造の町家を中心とした町並みが続き、長福寺本堂と、草野家住宅は、国の重要文化財に指定され、特徴ある歴史的景観を残しています。また、豆田地区の玄関口である筑後川支川花月川では、地域と協働による川づくりを実施しており、「水郷ひた」らしい景観・自然環境と調和した河川整備を実施しています。



花月川河川敷（千年あかりのメイン会場）



賑わいをみせる豆田地区

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「千年あかり」は河川整備を契機に、平成17年より花月川河川敷を中心に開催している市民手づくりのイベントです。約3万本の竹灯籠が、花月川河川敷や伝統的な町並みが残る豆田地区を優しく照らし出し、今では多くの観光客が訪れる日田の風物詩として定着しています。開催にあたっては、市民やボランティアの他に、高校生、NPO、企業、地元建設業など多方面にわたる協力も得ながら、竹の伐採から灯籠作り、または当日の点火作業などが行われています。



市民ボランティアによる竹灯籠の制作

平成24年には花月川の氾濫により会場である河川敷周辺に甚大な被害が発生し開催が危ぶまれましたが、「早期復旧復興の願いを込めてみんなで灯そう光の輪」をテーマに、地域の方々の努力でなんとか開催することができました。今後も「千年あかり」を継続的に開催し持続的に発展させるためには、次の担い手を育てることが喫緊の課題であるため、平成26年より「高校生シンポジウム」を開催し、若い世代への心の伝承にも取り組んでいます。



約3万本の竹灯籠を並べるボランティア



大分県日田市
千年あかり実行委員会／日田市

3 活動の成果や波及効果等

10回目となった平成26年度の「千年あかり」は、14万5千人が訪れ、市民ボランティアなど約5千人に支えられています。

「千年あかり」の竹灯笼は、2千本から今では3万本に増え、竹灯笼以外にも、趣向を凝らしたオブジェが豆田地区一帯に展示されるようになりました。また、参加高校も3校から5校に増え、小学生も灯笼制作や勉強会に参加するようになりました。



趣向を凝らした竹オブジェ

4 前回受賞時からの活動の発展内容

千年あかりの活動が花月川から豆田町一帯、中城町（自治会主催の取り組み）へ広がりました。

若者の関心と参加を促し、「千年あかり」を持続的に発展させるため、市内5つの高校生によるシンポジウムを開催。実行委員と高校生が合同で「千年あかり」の魅力PR映像を作成しています。

喜びの声



受賞者

千年あかり実行委員会
実行委員長 財津 忠幸

コメント

この度は、平成27年度「手づくり郷土賞・大賞」に選定を戴き有難うございます。厚くお礼を申し上げます。

この「水郷日田」と呼ばれる日田市は水と緑の豊かな盆地です。その里山を守る竹伐採から始まり、その竹を利用した竹灯笼は、きれいな花月川の水面に映えて、日田市民の秋の風物詩となりました。

全ての企画から運営までを地元豆田地区の人々と市内の企業や団体のボランティアによって支えられています。この度の受賞をみんなで喜び、これからの励みにします。

活動内容

竹灯笼イベント開催、郷土振興・環境保全の高校生シンポジウム開催 など

活動の経緯

- 平成16年 設立
- 平成17年 第1回千年あかり実施
- 平成21年 手づくり郷土賞受賞

所在地

大分県日田市上野町76-1

活動主体及び連絡先

千年あかり実行委員会
(0973-23-2070)

対象となる社会資本

花月川及び日田市豆田地区
※管理者：日田市、
国土交通省九州地方整備局 筑後川河川事務所



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

皆でつくろう！手作り魚道 —魚がのぼり、笑顔ひろがる—

1 社会資本の概要

駒生川は、清流美幌川の支流で、魚類の生息個体数や種数が美幌町内で最も多い川の一つとして知られています。アイヌ語では、「チェポンオンネナイ(サケがたくさんいる大きな川)」と呼ばれ、今でも秋にはたくさんのサケが遡上し、地域の人たちの目を楽しませてくれます。

近年、宅地化や農地化が進み、駒生川は直線化さ



手作り魚道設置前

れ、それに伴って流速を落とす目的で9基の落差工（小型の堰堤）が設置されました。その結果、魚類を含めた水生生物の河川内移動が妨げられ、良好な河川生態系が失われてしまいました。

そこで、「魚が泳ぐ川を取り戻したい」という思いから、駒生川に魚道をつくる会が結成され、手作り魚道の取組が始まりました。



手作り魚道完成後

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

魚道づくりに当たっては、駒生川に魚道をつくる会と河川管理者（行政）が協議会を立ち上げて取り組み、駒生川に設置された7基の落差工に簡易魚道を設置しました。魚道づくりには会員はもちろん、地域住民や大学生、役場職員等延べ230名を超える多くの方々に参加しました。

魚道の材料は、地元で生産されたカラマツ材や畑から取り除かれた不要な石を活用することにより、

地財地消や費用軽減の工夫をしています。その結果、サケやサクラマスなどの魚が40年ぶりに遡上し、稚魚との対面に涙する会員もいました。

また、子供達の体験学習の支援や域外からの視察の受け入れ、フォーラム開催等を通じて、河川環境の大切さを伝える啓蒙活動も行い、一過性の活動に終わらないよう努めています。



魚道の完成を喜ぶメンバー



産卵遡上したサケ（北海道の許可を得て調査）



北海道網走郡美幌町 駒生川に魚道をつくる会

3 活動の成果や波及効果等

手作り魚道の取組は、他の支流にも広がっており、平成27年度から美幌川支流の福豊川で手作り魚道の取組が始まりました。この取組にも、駒生川に魚道をつくる会のメンバーの多くが加わっています。

また、町外（網走市や富山県など）からの視察もあり、富山県では実際に手作り魚道を完成させました。

駒生川に魚道をつくる会は、川を原生自然に復元するのではなく、人間と生き物とが折り合いのつく形で共生する自然を目指しています。



120名以上が参加した手作り魚道のフォーラム



魚道設置作業
(丸太取り付け)

魚道設置作業（石投入）

喜びの声



受賞者

駒生川に魚道をつくる会
会長 橋本光三

コメント

協力してくれた方全員でいただいた賞と受け止めています。落差工を上げられない魚を見たことが活動の原動力でした。今後は、維持補修などの課題もあるので、活動を知ってもらうことで協力が広がってくれればと思います。

活動内容

魚道づくり、生き物調査、普及啓蒙活動 など

活動の経緯

- 平成21年 会の発足
- 平成23年 魚道の第1基完成
その後、計7基の落差工に簡易魚道を設置
- 平成24年 サクラマス、アメマスの産卵床確認
- 平成25年 40年ぶりにサケの遡上確認

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

北海道網走郡美幌町

活動主体及び連絡先

駒生川に魚道をつくる会
(0152-72-2160 美幌博物館 担当町田善康)

対象となる社会資本

一級河川網走川水系支流駒生川
※管理者：駒生橋より下流が北海道、それより上流が美幌町



流水を活かすオホーツク流儀のおもてなし活動

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

1 社会資本の概要

国道334号は、平成17年に登録された知床世界自然遺産地域を唯一通過できる道路であり、沿道にはオホーツク海や知床連山をはじめとする優れた自然景観を有しています。

国道の北西側に面しているオホーツク海には、冬の知床の自然景観を代表する流水が接岸することから、北海道の中でも希少な沿道景観を楽しめる地域



国道334号沿道に接岸するオホーツク海の流水

であり、流水を見られることに関しては世界最南端の地域でもあります。

知床を訪れる観光客は年間約120万人で、近年は流水ウォークなど冬期ならではの体験型観光メニューも充実し、インバウンド観光が増加傾向にあります。



通常の道路除雪では、海側に雪壁ができ、流水への眺望を阻害している

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国道334号は、網走方面から知床へ通じる唯一のアクセス道路であり、特に冬期間は道路管理者の除雪による交通確保が重要となっておりますが、除雪後に出来る雪壁の影響で通行者に冬の観光資源である流水景観を楽しんでもらえない状況がありました。

そこで、地域の方々に除雪ボランティアを呼びかけ、ウトロの冬期来訪者のピークを迎える2月から3月にかけて開催している「知床ファンタジア」に



地域住民が流水景観への眺望確保のため、雪壁を除雪

合わせて雪壁の除雪を行い、来訪者に流水景観を楽しんでいただく「オホーツク流儀のおもてなし活動」を、冬の厳しい気象条件の下、平成19年度から毎年実施しています。

参加者自らが有する除雪機材を持ち寄ることで、準備のための負担が軽減でき、また、一般参加者に対しては地場産品を活かした軽食を提供し、企業での参加に対しては感謝状を渡すなど、参加者の満足度を向上させる仕掛けをしています。



通常の機械除雪（右）とボランティアによる除雪（左）の違い



北海道斜里郡斜里町

しれとこ・ウトロフォーラム21 / 北海道開発局網走開発建設部

3 活動の成果や波及効果等

自分達で流氷のビューポイントを確保し、来訪者に対して機会があるごとに積極的に案内するようになった結果、多くの来訪者が立ち寄り、写真撮影している姿が見られるようになりました。

また、様々な立場の人が、一緒に作業することで地域内のつながりが強くなりました。

公共事業という一括りのとらえ方の中で、地域にとって必要な事業であることの理解が生まれたのと同時に、特に道路関連施設について、地域のもの（大切に・維持し・価値を高めよう）という考え方が生まれました。



ボランティアによる除雪後、流氷景観への眺望が確保されたことで、多くの来訪者が立ち寄り写真撮影などで賑わう



大人から子供まで地域が一丸となった地域住民の手による花植え作業

喜びの声



受賞者

しれとこ・ウトロフォーラム21
代表 松本鉄男

コメント

このような賞をいただき大変うれしく思います。知床の価値を多くの人に観てもらいたいと始まった活動です。今後も、皆さんの協力とつながりを大切に、その価値を誇れるものにしていきたいと思っています。

活動内容

除雪ボランティア、花植えボランティア、ポケットマーケット など

活動の経緯

- 平成 9年 フォーラム21設立
まちづくり活動開始
- 平成19年 花植えボランティア開始
- 平成20年 ガードレール雪かき開始

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

北海道斜里郡斜里町ウトロ西～ウトロ東

活動主体及び連絡先

しれとこ・ウトロフォーラム21
(0152-24-2826)

対象となる社会資本

国道334号
※管理者：国土交通省北海道開発局
網走開発建設部



癒しの溪流づくり ～生保内川の自然と防災～

1 社会資本の概要

八幡平山系の生保内川流域では、脆弱な地質のため大雨の度、土砂災害に見舞われてきました。この土砂災害から人々の命と暮らしを守るための砂防ダムと、カジカやホタルが息する多様な自然環境の両立を図るため、地域特性と生態系に配慮した透過



昭和35年8月 田沢湖水害

型大暗渠砂防堰堤が造られました。

砂防施設の周辺には杉木立の中を散歩できる遊歩道と水辺施設が整備されたことで、市民の交流の場となっており、大暗渠をメインとした砂防事業の学習の場としても活躍しています。



生保内川大暗渠砂防堰堤

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

生保内地区は急速な少子高齢化と、火山地域特有の脆弱な地質等に起因する荒廃地からの度重なる土砂災害の危険にさらされています。こうした中で、地域を越えた交流や助け合う町づくりを目指し、環境に適した大暗渠と多様な自然に恵まれた地域の宝「生保内川」を活かした活動を行っています。

平成20年度から毎年、角館高等学校インターアクト部などの協力により、水辺や森の自然と触れあい、親子・高齢者との交流イベント「生保内川癒しウォーク&交流会」を開催しています。また学識経

験者の講演会を含む市民レベルでの環境に関する癒しの溪流の意義及び防災意識の向上、田沢湖水害から学ぶフォーラムを関係団体と共同で開催し、将来への自然環境保全の大切さ、防災対応や過去の悲惨な災害の継承を語り合う活動を実施しています。

癒しの溪流においては、健常者のみならず体力的に弱い子供や高齢者・心身に障害のある方たちに、生保内川で元気いっぱい自然、大暗渠とふれあえるイベントを開催しています。



小学生へ砂防堰堤についての総合学習の実施



世代間を超えて自然とふれあいながら交流を深める参加者



秋田県仙北市

NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」 / 仙北市建設課

3 活動の成果や波及効果等

恒例イベント「癒しのウォーク&交流会」では、子どもからお年寄りまで80~100名の参加者があり、森林を縫う約2kmの散策路ウォーキングのほか、溪流での川遊び、イワナ取りを通じて自然の中で交流を深めています。

またフォーラムの開催によって、大暗渠砂防堰堤の存在や働きを再認識し、昭和35年「田沢湖水害」の大水害の記憶を風化させること無く、防災意識の向上に繋がっています。



イワナのつかみ取りの実施



癒しウォークで森林を歩く参加者

喜びの声



受賞者

NPO 法人
「癒しの溪流・里・まちネット」
理事長 田口 寿宜

コメント

心からうれしく思っています。この賞を頂いたことを励みにして、市民の皆さんや地域の皆さんのご協力を頂きながら、これまでの活動に尽力していきたいです。

活動内容

施設の安全点検、フォーラムの開催

活動の経緯

平成19年 NPO 法人 癒しの溪流・里・まちネット発足
平成20年 「癒しウォーク&交流会」開催 (以後毎年開催)

所在地

秋田県仙北市田沢湖生保内地先

活動主体及び連絡先

NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」
※功労者名：菅原 陽三
理事長：田口 寿宜 (0187-43-2532)

対象となる社会資本

生保内川遊砂地・生保内川大暗渠砂防堰堤
※管理者：秋田県仙北市



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

最上川フットパス ～かわからまちへ、まちからかわへ～

1 社会資本の概要

長井市は、最上川、置賜白川、置賜野川の3河川に囲まれた「水のまち」であり、かつては「最上川舟運」の港町として栄えた商業都市で、日本海に面した酒田港から米沢藩へと物資を運んだ舟運ルートの終着港でした。現在でもまちなかには当時の水路網が形成されており、舟運で栄えた商家跡が多数現存するなど、最上川との関わりが今も色濃く残され



四季折々の花が咲き誇る最上川フットパス沿い

ているまちとなっています。

最上川フットパスは、四季折々に姿を変える美しい周囲の自然と調和するよう土系の舗装で整備されており、河川沿いの自然とまちなかの舟運の歴史や文化を繋ぐ”昔からあるありのままの風景を楽しむ小道”として市民や観光客に親しまれています。



舟運時代の歴史を偲ぶ最上川舟運記念碑

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

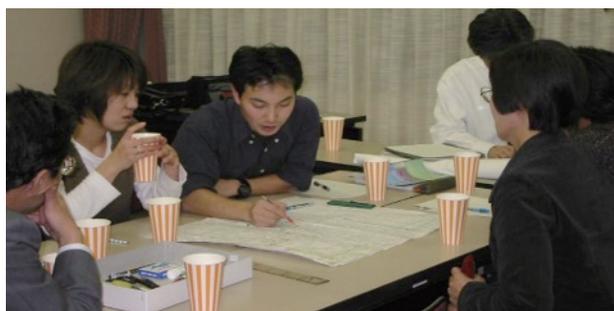
長井市では、数多く存在する観光資源や舟運時代の歴史や文化、自然豊かな川など「水のまち」としてのメリットを活かすために、かわとまちを繋ぐ動線の整備を行い、利活用することにより観光を通じた利用促進を目指しています。

利活用の活動として、まちなかと河川を繋ぐルートを検討し、現地踏査やワークショップを行い、フットパスマップを作成しました。

また、平成24年から「ながいフットパスウォーク」

を開催し、今年で5年目を迎えます。当初は市民向けの周知を目的とし開催してきましたが、回を重ねるごとにリピーターや市外の観光客の参加も増えており、市内の観光利用者や河川利用者の増加に寄与しています。

また、さらなる利活用を図るため、まちとかかわを繋ぐフットパスの拠点として、観光交流センター「川のみなと長井」を整備中であり、観光交流人口の拡大や地域への経済波及効果が期待されています。



地域住民によるフットパスマップ検討の様子



観光交流センター「川のみなと長井」完成イメージ



山形県長井市

長井市かわまちづくり推進協議会 / 長井市

3 活動の成果や波及効果等

「ながいフットパスウォーク」の開催により、河川沿いのフットパスの認知度が上がり、平成15年に31,800人であった河川利用者が平成26年には57,200人と大幅に増加しました。

また、川沿いだけでなく市内各地でも開催しているため、それぞれの地域の魅力を引き出す一助となっています。



イベント参加者を楽しませる渡河施設



まちなか水路沿いのフットパス

喜びの声



受賞者

長井市かわまちづくり推進協議会
会長 菅野 昭浩

コメント

この度は思いがけなく、手づくり郷土賞という栄えある賞を頂き誠にありがとうございます。活動を通じて、私たちの住むまちを大切に、誇りを持つことが大事だと実感することが出来ました。今後も「水のまち長井」の魅力を発信していきたいと思えます。

活動内容

かわとまちをつなぐまちづくり活動、フットパスルートの検討、マップの作成

活動の経緯

平成21年 協議会設立
平成24年 ながいフットパスウォーク開催

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

山形県長井市小出地内 最上川左岸河川敷

活動主体及び連絡先

長井市かわまちづくり推進協議会
※会長：菅野 昭浩 (0238-87-0863)

対象となる社会資本

最上川フットパス
※管理者：山形県長井市



鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！ ～お花畑から広がるつながりの輪～

1 社会資本の概要

鬼怒川は栃木県と群馬県境の鬼怒沼を水源とし、茨城県守谷市において利根川に合流しています。源流部は渓谷を流下する急流となっており、栃木県日光市付近で奥日光から流れる大谷川と合流した後、川幅が広く雄大な流れとなっています。



河川敷に咲くポピーの花

鬼怒川上流域では、礫河原特有のカワラノギク、カワラハハコ等が自生しています。河畔林はオオタカの餌場となるとともにサシバ等の小型の猛禽類が営巣しています。また、サケやアユが遡上する河川として有名です。



地域に定着した「ポピーまつり」「コスモスまつり」は多くの参加者でにぎわいます

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

鬼怒川の美しい自然を守り育てることを目的に、「花の咲くきれいなところにゴミは捨てない」との願いを込め、空き缶拾いやゴミ拾いなどの清掃活動、石ころ拾い、花畑の造成、種蒔き、草花の植付け、散水などの活動を行っています。

活動を始めた当時は、河川敷一帯に大人の背丈が隠れてしまうほどの雑草が繁茂し、小さな車がやっと通れるような小道があるだけで、空き缶や冷蔵庫、



河川敷の清掃活動

自転車などが捨てられていました。

維持管理活動には、地元の女性会、小・中学校、高等学校の生徒さんもボランティアで参加しています。

現在の河川敷には、菜の花やポピー、ひまわりやコスモスなどが季節ごとに花を咲かせ、「ポピーまつり」や「コスモスまつり」は、多くの人でにぎわい、地域のコミュニケーションにもつながっています。



夏と言えば「ひまわり」。夏の強い日差しを浴びて、すくすく育ちました。春から秋にかけて、いろいろな花が河川敷を彩ります



茨城県筑西市 鬼怒川を愛する会

3 活動の成果や波及効果等

コスモまつり、ポピーまつりが地域に定着し、筑西ケーブルテレビでの放映や筑西市広報紙でも紹介されるようになり、年々参加者が増え、昨年度は300人を超えています。まつりには地域の各種団体が参加し、日頃の練習（太鼓や演奏など）の成果を披露するとともに、まつりを盛り上げています。

種まきが近づくと下館西中学校長に「鬼怒川を愛する会です」と電話すると「種まきですね。今年も協力させていただきます」と快く承諾いただき、毎年部活単位の協力を受けて活動の継続性につながっています。

そのほか、サルビアの植付けでは約100名参加（平成23年）、平成27年にはマリーゴールドを平成28年にはコキアをそれぞれ5,000株植付け、70名の親子が参加しました。



子供たちによるマリーゴールドの植付け

喜びの声



受賞者

鬼怒川を愛する会 会長 中澤 清一

コメント

鬼怒川の美しい自然を守り育てることを目的として河川敷に花畑を造成し、四季折々に咲く草花で人々の心を和ませるようになってから、14年が過ぎました。

「花の咲くきれいなところにごみは捨てない」

この信条をかざし、石ころと雑草だらけの河川敷を花畑に変えた仲間たちとの汗の結晶が多くの人々に評価され、手づくり郷土賞に繋がったと喜んでおります。今後はこれを励みに新たな飛躍をめざしていきます。

活動内容

河川敷の清掃活動、花畑の造成、草花の植え付けや開花に併せた交流会の実施 など

活動の経緯

- 平成14年 鬼怒川を愛する会 設立
清掃活動・花畑造成開始
- 平成15年 活動広報紙 発行・配布開始
地域交流イベント 順次開催
- 平成24年 花畑造成面積20,000㎡完了
- 平成26年 活動記録誌「鬼怒のながれと共に」製作・配布

所在地

茨城県筑西市伊佐山地先

活動主体及び連絡先

鬼怒川を愛する会
(0296-28-2201 日新合成工業(株)内)

対象となる社会資本

鬼怒川河川敷
※管理者：国土交通省 下館河川事務所



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

花と緑と笑顔にあふれる街づくり ～小平グリーンロード～

1 社会資本の概要

小平グリーンロードとは小平市内の玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道、小金井公園を結ぶ緑の回廊で、一周すると約21kmの起伏の少ない散歩道です。この水と緑の散歩道「小平グリーンロード」に市内外の多くの人々が親しんでいます。小平グリーンロード沿いには駅が点在し、どの駅から始めても、どの駅



「狭山・境緑道花街道ボランティア部会」
年に2回、街道沿いの花壇の一斉植替え

で終わってもすばらしい自然を楽しめ、ゆっくり散策できるのも特徴です。平成16年には「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれています。これは一般社団法人日本ウォーキング協会が国土交通省などの後援を受け、選定したウォーキングコースで、多摩地域で選定された8コースのうちのひとつです。



「齋藤素巖グリーンロード美術館部会」春と秋に全ブロンズ像を洗浄

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

市民ボランティアが中心となり、「玉川上水自生野草を守り育てる会」、「あじさい公園あじさいボランティア部会」、「狭山・境緑道花街道部会」、「齋藤素巖グリーンロード美術館部会」、「小平グリーンロードイベント部会」の5つの部会を構成しています。具体的には、小平グリーンロード沿いの花や緑を管理・保護する活動や、同じく緑道沿いに設置されている齋藤素巖ブロンズ像のメンテナンス、市内イベントでの小平グリーンロードのPR等の活動をおこなっています。活動日は各部会により異なり、

各部会員が年間予定表を作成し月に3～5日程活動しています。また、花まつりや灯りまつり、ガーデニングコンテスト、収穫祭等、市内で行われるイベントを主催したり、花と緑にあふれる街づくりを推進するオープンガーデン事業をおこなっています。会員自らが企画・参加することによって、より地域を知り、地元へ愛着をもつことができる活動が多く、これにより、会員（市民）間のつながりが強まり、さらに活動が活発化しています。



「あじさいボランティア部会」
あじさい祭りでの、あじさい撮影教室



「玉川上水自生野草を育てる会」
自生野草観察会を実施



「小平グリーンロードイベント部会」
収穫祭など、市内のイベントに出店し、
グリーンロードのPR等を実施



東京都小平市
小平市グリーンロード推進協議会

3 活動の成果や波及効果等

平成10年の設立以降、小平市グリーンロード推進協議会は「小平グリーンロード」を小平市の観光資源に位置付け、約100名の会員が小平グリーンロードの繁栄とPR活動を行ってきました。市民アンケートでは、「小平市を訪れる人におすすめしたい小平市の見どころ」のうち「小平グリーンロード」が46%で一番に挙げられています。また、小平の伝統的な地口行灯を利用した「小平グリーンロード灯りまつり」も今年で10周年を迎え、来場者も4万人を超え、小平市内の一大イベントへ成長しました。このように市民が主体となり小平グリーンロードの保護、繁栄やイベントの運営に携わることで小平市の魅力を増大させ、市民自らが「住みやすい」、「誇りを持てる」と感じられる街へと成長させています。



「灯りまつり」
平成27年で10周年を迎えました。
市民の手づくりの灯ろうが出展されます

喜びの声



受賞者

小平市グリーンロード推進協議会
会長 後藤 亘

コメント

この度の受賞、大変光栄に存じます。
小平グリーンロードは、水と緑と花の豊かな散歩道として多くの市民から親しまれています。この資源を大切に守り育てて次世代に継承し、さらに魅力的な街づくりを目指して積極的に活動して参ります。そして、この受賞を機にさらに多くの皆様に訪れて頂きますよう、その魅力を広く発信して参りたいと思います。

活動内容

小平グリーンロード沿いの草花の保護・管理、内イベントの主催など

活動の経緯

- 平成10年4月 協議会設立
- 平成15年4月 あじさい部会発足
- 平成18年4月 齋藤素巖ブロンズ像設置
- 平成18年8月 灯りまつり開始 など

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

東京都小平市

活動主体及び連絡先

小平市グリーンロード推進協議会
(042-346-9581 小平市産業振興課)

対象となる社会資本

小平グリーンロード
(小平市を周遊する約21キロの散歩道)
※管理者：東京都（建設局、水道局）、小平市



和倉温泉まちなか賑わい再生と 景観づくり

1 社会資本の概要

和倉温泉は、古くから能登半島最大の観光・宿泊拠点として栄えてきましたが、近年の旅行ニーズの多様化などにより、観光客の入込み客数は平成3年の151万人をピークに減少しており、かつての活気が失われつつありました。温泉街には、核となる観光の拠点施設がなく、安全な歩道空間や公園などの休憩施設も乏しいという課題がありました。こうし



まちなか観光の拠点となる観光交流センター「総湯館」

た中、平成20年度に着手した環境整備事業と同時に「和倉温泉街にぎわい再生協議会」（現在は「七尾市和倉校区地域づくり協議会 おもてなし委員会」）を設立し、協議会の意見を反映させながら、まち歩きを堪能できる環境と地域固有の自然や住民とのふれあいを楽しめる温泉街づくりに取り組んでいます。



歩道の拡幅と無電柱化で安全な歩行環境を整備

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

ハード整備については、月1回開催する協議会で情報を共有し、議論を反映させながら実施しました。安心と快適性を実感できる、まちなか道路空間をつくるため、石張り・カラー舗装、案内サインや街路灯などの歩道整備と無電柱化を行いました。また、核となる観光交流センター「総湯館」や公園の再整備、マリンスポーツ施設といった新たな拠点も整備しています。

ほかにも、地域の取り組みとして、花と緑、まち



協議会による歩道整備のデザイン検討

なかや沿道をフラッグで装う「おもてなし活動」を行うなど、地域のぬくもりが伝わる観光地づくりに努めました。

また、和倉温泉らしい格式と温泉情緒ある雰囲気を出すための「景観協定」に約22haという広範囲の住民から賛同を得て、景観法第81条に基づく「景観協定」を北陸で最初に締結し、平成26年4月より運用を開始しています。



撤去した電柱広告を集約した集合看板



石川県七尾市

七尾市和倉校区地域づくり協議会 / 七尾市

3 活動の成果や波及効果等

まち歩きを促す取り組みや観光拠点整備により、まち歩きをする人（七福神巡りをする人）は平成18年の約2,000人から平成24年には約9,500人と約5倍に増加、「総湯」の入り込みは平成18年の約20万人から平成24年には約24万8千人と約5万人増加しました。

また、景観協定による建物の立替や改善が実施されており、地区の特色に合った景観が形成されつつあります。



「総湯館」前の広場でイベントも開催



情緒ある景観を演出する建物外観

喜びの声



受賞者

七尾市和倉校区
地域づくり協議会
会長 小田 孝信

コメント

今回の受賞は、今後の地域活動への励みとなり、とても喜ばしく思っております。協議会では散策しながらお湯が感じられるまち並みが必要であると考え共同浴場「総湯」を中心としたまちづくりを計画しました。今後も和倉温泉へ二度、三度と足を運んでいただけるよう、地域一丸でおもてなしの向上に努めてまいります。

活動内容

花と緑のおもてなし、観光イベントなど

活動の経緯

平成20年 和倉温泉街にぎわい再生協議会を設立

平成22年 七尾市和倉地区景観協定運営委員会を設立

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

石川県七尾市和倉町地先

活動主体及び連絡先

七尾市和倉校区地域づくり協議会
(0767-53-8469)

対象となる社会資本

和倉温泉地区
(観光交流センター、道路、公園、緑地、広場、
照明施設、マリンスポーツ施設)
※管理者：七尾市



清流長良川漁場の再生への取り組み

1 社会資本の概要

岐阜県を縦断する長良川は、流域の人々のくらしの中で清流が保たれ、その清流の中でアユが育ち、清流とアユは、地域の経済や歴史文化と深く結び付いています。長良川は、人の生活、水環境、漁業資源が相互に関連しています。

特に、長良川の最上流部に位置する郡上市内で獲れるアユは「郡上鮎」と呼ばれています。平成19



清流長良川上流域

年には河川産天然魚類で最初に地域団体商標に登録となり、平成20年には、第11回全国清流めぐり利き鮎会においてグランプリを獲得するなど、名実ともに日本一のアユといえます。

さらに平成27年に、「清流長良川の鮎」として世界農業遺産に認定されました。



世界農業遺産の「清流長良川の鮎」

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

一級河川の長良川の当地区（郡上市大和町徳永地内釜淵橋下流）は、以前は河底に玉石などの堆積物で厚くできた瀬や淵があり、多様な河川環境がありました。

しかし近年、度重なる出水により、長良川徳永地区の河床の低下が進行し、河川護岸の基礎に悪影響を与えるようになりました。また、河床低下に伴う岩河床が広がり、長良川上流のブランド「郡上鮎」

の生息環境として不適な区間でした。

そのため、河床低下対策と生物生息環境の改善が課題でした。河川管理者の岐阜県は、流域住民の代表者、漁業協同組合関係者などで構成するベストリバー検討会を設置し、清流長良川の自然、景観を損なうことがないよう協議を進め、伝統的な石組工法による分散型落差工を実施しました。

さらに、「郡上鮎」の生息環境保全と生産性向上を目指す漁業協同組合も一体となり、長良川の清掃活動及び地域の担い手育成を継続的に行っています。



河床低下対策（分散型落差工）の施工位置



石組工法による分散型落差工の施工状況



岐阜県郡上市
郡上漁業協同組合 / 岐阜県

3 活動の成果や波及効果等

魚類の生息環境が改善され、生息数も増え、釣り人も増加しています。

さらに魚類生息環境の維持と清流長良川を地域全体で守るため、清掃活動を実施するとともに、若い担い手を育てるため、アユの放流や釣り大会を実施しています。

この地域の担い手を育てる継続的な活動により、参加した子供たち（地元の中高生）が主体となり、アユ釣り大会を開催しています。



若い担い手を育てるアユ釣り体験



地域の担い手によるアユ釣り大会

喜びの声



受賞者

郡上漁業協同組合
代表理事組合長 奥村義雄

コメント

この度の受賞は、漁業に携わる後継者育成や、流域の環境保全、啓蒙活動等に取り組んできた事例が認められたものと思っています。

今後も官民一体となって良好な河川環境を育み、利用しながら、流域の漁業をはじめとする産業振興を図りながら「世界農業遺産 清流長良川の鮎」の更なる地位向上に努めてまいりたいと考えています。

活動内容

長良川源流の森育成事業（広葉樹の植樹）の実施、後継者育成事業（小学生放流体験学習、釣り教室等）の実施 など

活動の経緯

平成21年～ 検討会

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

岐阜県郡上市大和町徳永地内

活動主体及び連絡先

郡上漁業協同組合
(0575-65-2562)

対象となる社会資本

釜淵橋下流分散型落差工
※管理者：岐阜県



東近江市尻無町「水源の森」 ～いにしへの「長谷掘り抜き」を後世に…～

1 社会資本の概要

布引丘陵の麓にある「水源の森」は、森林部分は私有地、ため池及び麓の部分は農林水産省管轄の国有地であり、地元の東近江市尻無町自治会が国有地も含めて管理してきました。

この場所は、布引川より引水された向山溜が起源



長谷掘り抜き

になります。その後、平成18年に愛知川上流域にある永源寺ダムの農業用水ため池として造成され、以降国有地の一部となり、管理は愛知川土地改良区の管轄下となりました。



農林水産省管轄 「向山溜」

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「水源の森」には、「長谷掘り抜き」と呼ばれる隧道が走っており、この水を農業用水を始め、生活用水として地域における「命の水」として利用されてきました。しかし近年ではダムや水道の普及により、この水の利用がなくなり、その存在すら地域から忘れられている状態となり、それを危惧する声が住民の中で高まりました。

そこで、平成20年7月に「この場所を地域の人々が憩える場所」にし、また、

「将来的には町おこしの拠点として後世に残る場所」になるように整備に協力してほしいとの依頼を

受け、東近江市尻無町自治会と連携し、平成20年から「水源の森」整備事業を展開してきました。

整備にあたり、地域の方々の要望等の聞き取り調査を行い、整備計画を策定し、水源の森の設計コンセプトやデザインについて、地域の方々とワークショップを行い、材料調達や工事計画等を一緒に考えました。また、地元の子供が関心を持てるような空間にするため、「生物多様性」を軸としたビオトープ工事に着手し、自然石の石積みをはじめ、池の掘削等の工事も行い、水辺空間には、カキツバタやアヤメ等の水生植物も植栽しました。



公園計画図



プレゼンテーション発表



ビオトープの造成作業



滋賀県東近江市

滋賀県立八日市南高等学校 緑地（花緑）デザイン科

3 活動の成果や波及効果等

「江戸時代から伝わる地域の命の水を守りたい」という地元の人々の思いを受け、この水を活かし、将来的に町おこしの拠点として後世に残る場所になるような憩いの場所づくりに取り組み、地元自治会の人達との交流が生まれました。



水生植物の植栽作業



植栽後の集合写真

喜びの声



受賞者

滋賀県立八日市南高等学校
緑地（花緑）デザイン科
ランドスケープデザイン班

コメント

本校は平成3年より緑地デザイン科として造園教育を中心とした学習活動に取り組んでおり、現在は平成26年度より花緑デザイン科となりました。

今回の受賞を契機にこれからも、地域に根ざした町づくりや町おこしに取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

活動内容

「水源の森」公園造成、管理など

活動の経緯

平成20年 測量及び計画図の作成
平成21～24年 公園造成・施工
平成24年～現在 維持管理・修復

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

滋賀県東近江市尻無町地内

活動主体及び連絡先

滋賀県立八日市南高等学校緑地デザイン科
※功労者名：武久国松、松井良夫

対象となる社会資本

向山溜（貯水池）：農林水産省
※管理者：愛知川土地改良区
東近江市尻無町自治会



商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル

1 社会資本の概要

京都府の南部、京都市と大阪市の間に位置する長岡京市は交通の便がたいへんよく、特に阪急長岡天神駅を挟んだ中心市街地の東西約800mに及ぶ長岡中央商店街のある府道伏見柳谷高槻線（通称アゼリア通り）は、買い物客や通勤者、観光客など日中



自作LEDランプの設置

は多くの人々の往来で賑わっています。

商店街では地域に密着したきめ細かなサービスを展開するとともに、子どもたちや若者を活動に参画させることにより、社会資本としての充実と存在感を高めています。



商店街フラッグ

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

長岡中央商店街では各店舗の後継者問題や地域の少子高齢化、近隣都市への大型商業施設出店などにより加盟店が減少し、賑わいが失われるばかりでなく、街の安心と安全を守る商店街灯の維持すら困難な状況に陥っていました。

そこで、商店街では商店街灯のLED化に向け、商店街地域創生委員会「チームアゼリア」を結成し、当時市販されていなかった街路灯用LEDランプの自作に取り掛かりました。完成したLEDランプには、街への愛着を持ってもらおうと、LEDランプ作りを手伝った地域の子どもの名前やイニシャ

ルが書き込まれています。

その後も、商店街のメインストリートであるアゼリア通りをフィールドとし、将来を担う若者が中心となって、七夕まつりや花いっぱい運動、オリジナル貸傘、打ち水大作戦、環境絵画コンクールなど、地域の子どもたちを巻き込みながら環境活動を行っています。商店街は行政、市教育委員会、小学校、市民環境団体等、地域の多様な主体が協働する場でもあり、地域の創生に向けた情報発信を続けています。



花いっぱい運動



打ち水大作戦



京都府長岡京市

長岡中央商店街振興組合 地域創生委員会 チームアゼリア

3 活動の成果や波及効果等

チームアゼリア結成のきっかけとなった自作LEDランプは、地元小学校の環境教育プログラムとして組み込まれ、LEDランプ組立授業は校区の小学校で毎年実施されています。

市や教育委員会と連携して行っている環境絵画コンクールは、毎年市内の小学4年生全員が受ける環境出前授業の成果として行っています。最優秀賞は市のごみ収集車に描かれるとともに、市の環境フェアで表彰されるなど広く啓発され市民の環境意識の向上に寄与しています。



小学校教科書に掲載された商店街の活動



環境絵画コンクール

喜びの声



受賞者

長岡中央商店街振興組合
地域創生委員会 チームアゼリア

コメント

この度は、たいへん歴史のある国土交通省の手づくり郷土賞に認定いただき、光栄であるとともに、身が引き締まる思いがしております。

今回の認定を励みとし、今後も若い世代を中心とした人と環境にやさしい郷土づくりに邁進していきたいと考えております。ありがとうございました。

活動内容

学生が中心となった子どもたちを巻き込んだ地域活動

活動の経緯

- 平成20年 自作LEDランプ作製
- 平成24年 オリジナル貸傘作製
- 平成25年 環境絵画コンクール

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

京都府長岡京市天神～開田地内

活動主体及び連絡先

長岡中央商店街振興組合
地域創生委員会 チームアゼリア

対象となる社会資本

長岡中央商店街アゼリア通り
(府道伏見柳谷高槻線)
※管理者：長岡京市、長岡中央商店街振興組合



桜が教えてくれたカタクリで 地域づくり

1 社会資本の概要

福井県大野市は、県の東部に位置し、市の8割は森林で豊かな水と自然に恵まれた盆地です。近年では、大野市にある越前大野城が雲海に浮かぶ「天空の城」として有名です。中心市街地は、戦国時代に織田信長の配下、金森長近公により整備された城下町です。

一級河川九頭竜川水系の日詰川は、大野市上丁か

ら牛ヶ原地先にて赤根川に合流する、大野市西部の田園地帯を流れています。また、主な活動地域の矢地区は、大野盆地の最北部に位置し、居住地区の背後は大野盆地を取り囲むように山々が連なっています。昔から矢地区の人々は山とのつながりを大切に暮らしてき来ました。



越前大野城



豊かな水と自然の大野市

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域資源がない危機感から地域興しのために、地区全体を桜の名所にしようと目標を設定し、桜の植樹を開始しました。植樹した桜は切り花として商品化を試み、現在では需要に供給が追いつかない程の産業にまで成長しています。この取り組みの中で、里山整備中にカタクリの群生地が発見されました。大切に育てあげ、現在では100万本に繁殖し西日本最大の生息地となり、観光客の人気を集めています。

地域一帯を花と緑の里「矢ばなの里」と愛称をつ

け、市道沿いにアジサイなど四季を通じて花木を楽しめるようにしています。かたくりまつりには県内外から多くの方が来場され、地元区民と来場者が交流することが、イベント継続の力となり、地域の絆と地域への愛着が強まりました。また、イベントではそば打ちや名物・農作物の販売など、他分野の人々との交流や外部からのイベント参加者とも交流することで、地域の良さを再確認いたしました。活動を通じて希薄だった地区内の交流も深まっています。



ボランティアを募り桜を植樹



矢ばなの里を周年花と緑のある地域に



福井県大野市
矢環境緑化実行委員会

3 活動の成果や波及効果等

桜の管理中にカタクリの群生地を発見し、凄い地域資源があることに気づきました。カタクリの花は人気があり、遠方から観光バスで多くの方が来てくれます。また、整備協力金を集める様になり、当初ボランティアだった作業やイベント動員へ、わずかながら手当を支給できる様になり、独自の活動が行える様になりました。今では切り花用の桜といえは「矢」というイメージがつき、桜からカタクリまで春の流れが定着しつつあります。



100万本のカタクリの群生地



かたくりまつり

喜びの声



受賞者

矢環境緑化実行委員会
委員長 宮本 敬一

コメント

第30回記念の公開審査会が東京であり、矢環境緑化実行委員会も参加させていただきました。結果、見事栄誉ある大臣表彰に輝くことができ、区民一同大変喜んでおります。里山を整備し、桜を植えていたかたわらで見つけたカタクリの群生地。手入れし「かたくりまつり」ができるまでになりました。名誉ある賞をいただけたのも行政の温かいご指導のおかげです。これからも賞に恥じないよう精進していく覚悟です。

活動内容

桜などの植樹と管理、里山整備、かたくりまつりの開催 など

活動の経緯

平成18年 里山整備開始
平成21年 かたくりまつり開始
平成25年 活動拠点施設の開設

所在地

福井県大野市矢

活動主体及び連絡先

矢環境緑化実行委員会
(0779-66-5949)

対象となる社会資本

一級河川 日詰川
※管理者：福井県



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

鳴り石の浜を舞台にしたまちの 活性化プロジェクト

1 社会資本の概要

赤碓海岸は海岸延長約2880mにわたる社会資本であり、海岸保全のため護岸整備が行われています。赤碓海岸のうち西に位置する「鳴り石の浜」は、周辺約500mにわたって大小様々な大きさの丸いゴロタ石（輝石安山岩）が集積し、打ち寄せる波によ



鳴り石の浜の夕暮れ

て石同士がぶつかり合い、「カラコロカラコロ」と心地の良い音がする不思議な海岸です。大きな丸石ばかりが集積した海岸は全国的にも珍しく、地域の貴重な財産として大切に保全しながら魅力ある地域づくりに取り組んでいます。



丸くなめらかなゴロタ石

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成23年2月、山陰道東伯中山道路が開通しました。このことによって琴浦町内を通る国道9号線の交通量は激減し、渋滞が解消されるなど便利になった反面、国道沿い店舗の売上げは減少し、閉鎖する店舗が増えてきました。

「このままではまちがゴーストタウンのようになってしまうかもしれない!」という危機感から、仲間達と話し合い、「魅力的なものがあれば人は高速道路からわざわざにでも降りてきてくれるはずだ。」という信念の下、昔からそこにありながら今まで地元でも全く知られていなかった町内の魅力的

なスポット「鳴り石の浜」に焦点を当て、新たな観光地として発信すべく、近隣の住人と行政にも働きかけプロジェクトを立ち上げました。

鳴り石の浜では波が石を動かし、きれいな石の音がカラカラと「よく鳴る」ことから、運氣が「よくなる」パワースポットだと発信したところ、「ダジャレでまちおこし」が好評を得て注目されるようになりました。これを足がかりにスピード感と独自のアイデアを武器に様々な事業を展開しながら、内外にPRする活動をしてきました。



石に願い事を描いて海に投げ込む「石絵馬」



景観を活かした結婚式



鳥取県琴浦町

鳴り石の浜プロジェクト／鳥取県・琴浦町

3 活動の成果や波及効果等

メディアにもたびたび取り上げていただいたおかげで、最近ではたくさんの観光客が来る観光スポットとなりました。平成26年から奈良県の修学旅行生も毎年来られています。

また、地元の住民や企業、学校も鳴り石の浜プロジェクトの応援団となって様々な形で協力いただいています。

今後も活動を広げて、琴浦町への観光客誘致、さらなる地域活性化を目指しています。



琴の浦高等特別支援学校と育てるひまわり畑



海岸を使ったウォーキング大会

喜びの声



受賞者

鳴り石の浜プロジェクト
リーダー 馬野慎一郎

コメント

約5年間の活動の中で、まさに手作り感や人情味のある活動を続けてまいりました。多くの心ある人たちとの出会いが私たちの活動のエネルギーになっています。また、行政の皆様のサポートも心強く感じています。このたびの受賞は関わられました皆様、浜に来ていただいた皆様のおかげと感謝の気持ちで一杯です。

活動内容

自然海岸鳴り石の浜の保全整備、様々なイベント開催など

活動の経緯

平成23年 プロジェクト結成
平成24年 鳥取力 最優秀賞

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

鳥取県東伯郡琴浦町赤碕地内

活動主体及び連絡先

鳴り石の浜プロジェクト
サブリーダー 上田啓悟

対象となる社会資本

赤碕海岸
※管理者：鳥取県



協働による花と歴史と安らぎの郷づくり ～街道が蘇れば人も地域も元気になる～

1 社会資本の概要

橿原地域内では、国の天然記念物ゲンジボタルが生息しており、木屋川と稲見川が合流するところに位置するため鑑賞の期間が長く、鑑賞用のほたる舟の船着き場も設けられています。この地は、室町時代、大内氏が朝鮮貿易に用いた肥中街道と江戸時代、萩と下関を結んだ赤間関街道北道筋（現国道435号）が交差する交通の要衝地でありました。防長の三大



「道の駅」 蛸街道西ノ市

豪族豊田氏の館跡や、大内氏の重臣朝倉（右田）氏の館跡、城址や縁の神社、寺等があります。朝倉氏が建立した妙栄寺には雪舟や細川幽斎が訪れています。加えて、近くには年間80万人が来場する「道の駅」 蛸街道西ノ市があり、情報発信拠点、地域づくり活動の推進拠点としての機能も担っております。



妙栄寺

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当該地域は、高齢化率50%を超える中山間地です。休耕田が耕作放棄により荒廃地化するなど、景観が著しく損なわれました。加えて猪、鹿、猿による農作物への被害も多発し、農業者は耕作意欲を失いつつありました。一方、地域には貴重な歴史や遺跡があるにも拘わらず活用されないままの状態にあり、その存在さえも分からなくなりつつありました。このような状況下で「地域はそこに住む者自らが創っていかない限り決してよくなることはない（宮本常一）」を活動理念として、交流人口とU、Iター

ンの増加を目標に、地域課題解決型組織を発足し「肥中街道の再生と活用」、「道沿いの景観向上」、「郷土史講座の開催」、「協働による地域貢献」といった4つの事業に取組みました。倒木や汚染で通行不能であった歴史街道を再生し毎年梨の花ウオーク歴史コースとして活用。案内柱や史跡説明板の設置。国道、県道沿いの荒廃地に年間1万本超の花植え。妙栄寺での郷土史講座。中学生や大学生への歴史学習や地域研修の指導、歴史探訪や地域づくり研修の受入れを実施しました。



肥中街道の再生



道路沿いの景観向上



山口県下関市
 榎原ゆうあい会 / 山口県・下関市

3 活動の成果や波及効果等

国道や県道沿いの荒廃地を活用した当会の活動が手本となって近隣に「緑花活動地区」が4地区生まれました。「道の駅」との連携によって「肥中街道」の知名度アップや、身近な地域資源を活かした取組みが評価され、国土交通省の夢街道ルネサンス認定に寄与しました。県内外から歴史探訪や地域づくり研修視察者等が増え、体験発表の機会を得ました。活動が認知されると先方から支援や協賛の話があり、活動の継続に繋がっています。

活動を通じて会員が、郷土史の知識を習得し、案内人や講師に育ち、県民活動のアドバイザーも誕生しました。これからも常に活動理念を認識し、持続可能な活動ができるように努め、さらに地域資源を活かした生涯学習の拠点整備を進め、交流人口の拡大を目指します。



妙栄寺での郷土史講座

喜びの声



花植えを支えてきた仲間たち

受賞者

榎原ゆうあい会 代表 貴志 昇

コメント

まるで「蝸牛が富士山に登る」ような活動をしっかり認め、褒めて頂き感動しています。多くの協働して下さった方々に感謝し、郷土の温もりを繋げます。

活動内容

街道交流、花いっぱい、郷土史講座、学校支援など協働による地域貢献

活動の経緯

- 平成19年 会発足。第1回歴史講座開催。
- 平成20年 街道再生、梨の花ウオーク歴史コースに活用。国土交通省夢街道ルネサンス認定寄与。
- 平成22年 山口国体受入れ準備 景観整備。
- 平成23年 山口国体を花でおもてなし。県花いっぱい運動 奨励賞受賞。
- 平成26年 緑花活動モデル地区指定。
- 平成27年 下関市第6回景観賞受賞。

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

山口県下関市豊田町榎原

活動主体及び連絡先

榎原ゆうあい会
 事務局長 柴田 俊彦

対象となる社会資本

国道435号、県道下関長門線
 ※管理者：山口県、下関市



酒蔵とともに歩むまちづくり

1 社会資本の概要

肥前浜宿は鹿島市の長崎街道多良海道沿いに位置しています。この地区は、JR肥前浜駅前につながる駅前通り地区、白壁土蔵造りの酒蔵が建ち並ぶ酒蔵通り地区、また、かつて漁師や職人が多く生活した茅葺民家の残る港町の庄金・南舟津地区からなり、江戸時代からほぼ変わらない地割とともに、江戸末期から昭和前期にかけての伝統的な建物が多く残る地区です。

平成18年の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定以降、修理、防災事業を進めるとともに、街なみ環境整備事業地区内においても、建築物の修景、道路美装化等で景観整備が行われています。



肥前浜宿のまちなみ

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成元年頃、疲弊した町に元気を取り戻したいと地元有志で活動を始め平成13年に本会を結成しました。毎月地元の有志とまちづくりについて意見交換を行う「まちなみ活用委員会」を開催し、地域住民と行政との橋渡し役として重要な役割を担っています。また、花と酒まつり・酒蔵ツーリズム等のイベントの運営に携わるなど積極的なまちづくり活動を行っています。

「鹿島酒蔵ツーリズム[®]」は酒蔵と日本酒によってまちづくりに成功した先進事例として全国の注目を浴び、現在では7万人の来場者で賑わっています。

さらに、地域の課題となっている空き町家の活用について、酒蔵のスペースの広さと音響の良さに着目し、コンサートや講演会の会場として利用、また、肥前浜宿の導入口にある「継場」を観光案内所として、市指定重要文化財である茅葺屋根の旧乗田家住宅を公開施設として管理運営しています。

今では地域住民の建物と歴史的景観の保存に対する意識が向上しています。また、地域の課題である空き家対策については、その利活用のため、大学と連携しながら調査を行うとともに、移住希望者への対応に取り組んでいます。



「継場」でのまちなみ活用委員会



環アジア国際セミナー「呉竹酒造東蔵」にて



佐賀県鹿島市

特定非営利活動法人 肥前浜宿水とまちなみの会 / 鹿島市

3 活動の成果や波及効果等

酒蔵の蔵開きと桜を楽しむ「肥前浜宿花と酒まつり」を平成14年より開催し、当初は、来場者1万5千人の地元の小さなイベントでしたが、「鹿島酒蔵ツーリズム®」の浸透・定着により、平成27年度には2日間で7万人の来場者を迎え、鹿島市全体の一大イベントに成長しました。

また、隣の嬉野市の酒蔵との連携も始まるなど、地域の枠を超えた広がりを見せるとともに、知名度の向上にともなって、若者の移住者が増加し、ここ数年で6世帯10名が移住しました。彼らが新たなショップの開業やイベントを独自に開催するなど、新たなまちづくりの原動力になりつつあります。



肥前浜宿花と酒まつり（鹿島酒蔵ツーリズム®）

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
肥前浜宿水とまちなみの会
理事長 中島 丈夫

コメント

私たちの活動を評価していただき、ありがとうございます。

これも専門の先生方のご指導と行政の手厚い支援のおかげだと感謝します。

今後も息の長い活動を続けていきたいと考えております。

活動内容

酒蔵観光イベント開催 など

活動の経緯

平成14年 肥前浜宿花と酒まつり
開催

平成17年 NPO法人化

平成24年 鹿島酒蔵ツーリズム® 開催

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

佐賀県鹿島市浜町乙2696番地

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人
肥前浜宿水とまちなみの会
(0954-69-8004)

対象となる社会資本

肥前浜宿のまちなみ
※管理者：鹿島市



道路美化活動から始まった地域おこし ～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった!～

1 社会資本の概要

五島灘に浮かぶ西海市の大島は、温暖な気候と美しい風景に囲まれた自然豊かな地域です。平成11年11月11日には、西彼杵半島と同市寺島を結ぶ「大島大橋」により、大島と本土が繋がりました。

この「大島大橋」は、全長1,000mを超える斜張橋で、当初は有料道路として開通したものの平成23年4月1日に無料開放され、現在では、地元の方や来訪者にとってなくてはならない社会資本と



大島大橋周辺の美化及び清掃後

なっています。

環境美化を考える会が行う活動は、大島大橋を含む大島の地域全体を社会資本のフィールドとして捉え道路の美化活動を行うとともに、廃校になった小学校のグラウンドを開墾して農園（草木等最終処理場）として再利用することで環境学習や食育等の啓発などの活動の拠点としています。



廃校グラウンドの開墾

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和45年の松島炭鉱大島鉱業所の閉山後、離島特有の少子高齢化や人口減少が進む中、平成11年の大島大橋の開通を契機に、大島に来られる方を気持ちよく迎えようをスローガンに本会が発足し、除草や植栽などの道路美化活動を開始しました。

除草後の草木処理については、活動の自己完結型を模索し、除草で発生した草木をEM堆肥化させ、種まき、栽培し、道路植栽に活用するなど循環型の仕組みを構築しています。また、小中学校と連携し

た総合学習（野菜の土づくり、育てる、調理までの食育）を平成16年より毎年実施するとともに、植栽用の花苗については道守・日本風景街道の団体を通じて他の地域でも植栽に利用されるなど、活動が地域に広がりを見せています。また、大島のイラストマップを自ら企画・製作し、島内の民宿や観光等施設に設置するなど、地域全体の観光振興にも寄与しています。



小学校（廃校）のグラウンドを利用した農園



大島のイラストマップ



長崎県西海市 環境美化を考える会

3 活動の成果や波及効果等

道路美化活動は、平成11年より月1回のペースで行われ、20代から70代までの幅広い世代が参加しています。また、平成16年より、小中学校（9校）の総合学習枠で環境・食育指導を、1校につき年6回開催し、地域の教育現場と連携した取り組みが継続的に行われています。

さらには、大島を舞台とした「長崎西海トライアスロン祭り」の炊き出し支援を行うなど、当初と比べ活動の幅に広がりを見せています。



大島大橋周辺清掃活動



小学校での食育活動

喜びの声



受賞者

環境美化を考える会
代表 田口 昭子

コメント

この度は、このような栄えある賞を賜り誠にありがとうございました。

活動内容も道路の除草活動・植栽に始まり、生ゴミ堆肥化による環境学習、特に、元気野菜づくりにおいては子供達の食育に関わらせて頂いています。

この受賞を機に、会員ともに原点に立ち返り、微力ではありますが心を合わせて、郷土づくりの一助となるべく、力を尽くして参ります。

活動内容

地域清掃活動、廃校を利用した農園づくり など

活動の経緯

- 平成11年 設立
- 平成11年 道路除草・植栽開始
- 平成16年 環境学習・食育指導開始

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

長崎県西海市大島町1617

活動主体及び連絡先

環境美化を考える会
(0959-34-2364)

対象となる社会資本

長崎県西海市大島町
県道15号・52号・243号、市道
※管理者：長崎県、西海市



手づくり郷土賞 選定一覧

■年度別テーマ一覧 (Part 1～Part30)

Part.1

昭和
61年度

人と風土が育てた家並 30選
ふるさとの誇りとする橋 30選
ふれあいの水辺 30選

Part.2

昭和
62年度

いきいきとした楽しい街並み 30選
ふれあいの並木道 30選
水辺の風物詩 30選

Part.3

昭和
63年度

小さなふれあいの広場 30選
ふるさとの恵みを与える川 30選
やすらぎとうるおいのある歩道 30選

Part.4

平成
元年度

いこいとふれあいの道 30選
生活の中にいきる水辺 30選
歴史をいかした街並み 30選

Part.5

平成
2年度

街灯のある街角 30選
生活を支える自然の水 30選
花と緑の手づくりふるさと 30選
ふるさとの坂道 30選

Part.6

平成
3年度

施設部門 30選
素材部門 30選

Part.7

平成
4年度

くらしに根づく施設 30選
ふるさとの色と光 30選

Part.8

平成
5年度

自然とふれあう水辺づくり 30選
出会いを演出する街角 30選
ふるさとの風景にとけこむ道 30選

Part.9

平成
6年度

人々が集い憩う水辺づくり 30選
ふるさとの文化を育む街角の広場 30選
ふるさとを紹介する道 30選

Part.10

平成
7年度

コミュニティー部門 30選
自然部門 30選
歴史・文化部門 30選

Part.11

平成
8年度

テーマを設定せず 37選

Part.12

平成
9年度

テーマを設定せず 40選

Part.13

平成
10年度

テーマを設定せず 38選

Part.14

平成
11年度

テーマを設定せず 32選

Part.15

平成
12年度

テーマを設定せず 30選

Part.16

平成
13年度

地域整備部門 20選
地域活動部門 9選



Part.17

平成 14年度	地域整備部門	15選
	地域活動部門	11選

Part.18

平成 15年度	地域整備部門	13選
	地域活動部門	10選

Part.19

平成 16年度	地域整備部門	6選
	地域活動部門	11選

Part.20

平成 17年度	地域整備部門	8選
	地域活動部門	12選
	大賞部門	37選

Part.21

平成 18年度	地域整備部門	7選
	地域活動部門	14選
	大賞部門	9選

Part.22

平成 19年度	地域整備部門	7選
	地域活動部門	9選
	大賞部門	11選

Part.23

平成 20年度	一般部門	13選
	大賞部門	2選

Part.24

平成 21年度	一般部門	17選
	大賞部門	2選

Part.25

平成 22年度	一般部門	22選
	大賞部門	3選

Part.26

平成 23年度	一般部門	12選
	大賞部門	4選

Part.27

平成 24年度	一般部門	16選
	大賞部門	2選

Part.28

平成 25年度	一般部門	17選
	大賞部門	3選

Part.29

平成 26年度	一般部門	15選
	大賞部門	4選

Part.30

平成 27年度	一般部門（公開審査による選考）	15選
	大賞部門	7選



選定案件一覧

昭和61年度

人と風土が育てた家並

都道府県	市区町村	件名	
青森県	黒石市	こみせ	★H17大賞
秋田県	仙北市	武家屋敷	★H17大賞
山形県	上山市	榎下宿	★H17大賞
福島県	喜多方市	蔵のまち	
福島県	下郷町	大内宿	★H17大賞
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並	★H17大賞
群馬県	甘楽町	小幡城下町の伝統的家並	
新潟県	上越市	高田の雁木	★H17大賞
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り	★H17大賞
富山県	南砺市	信仰と木彫の里八日町通り	
石川県	金沢市	長町武家屋敷群	
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並	★H19大賞
岐阜県	高山市	三之町の家並	
岐阜県	恵那市	旧家の家並	
岐阜県	白川村	合掌集落	
愛知県	名古屋市	有松	
滋賀県	大津市	石積みの町	
滋賀県	東近江市	五個荘町金堂	★H17大賞
和歌山県	新宮市	別当屋敷町の家並	
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並	★H17大賞
島根県	津和野町	藩政時代の街並	★H17大賞
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並	★H17大賞
広島県	竹原市	竹原市伝統的町並	★H24大賞
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並	★H17大賞
香川県	丸亀市	本島笠島集落家並	
佐賀県	有田町	ドンパイ堀のある裏通り	
長崎県	長崎市	長崎新地中華街	
宮崎県	日向市	美々津の歴史の街並	★H17大賞
鹿児島県	知覧町	武家屋敷通り	
沖縄県	竹富町	竹富町家並	★H17大賞

ふるさとが誇りとする橋

都道府県	市区町村	件名
北海道	上砂川町	野鳥の橋
北海道	鷹栖町	北野橋
岩手県	盛岡市	御殿橋
秋田県	横手市	学校橋
山形県	上山市	新町めがね橋
山形県	長井市	撞木橋
福島県	喜多方市	東大橋
埼玉県	川口市	青木橋
埼玉県	草加市	辰井川6橋
東京都	港区	中之橋
神奈川県	横浜市	夕照橋
新潟県	新潟市	万代橋
富山県	射水市	虹の神楽橋
石川県	金沢市	犀川大橋
福井県	福井市	新明里橋
山梨県	大月市	猿橋
長野県	飯綱町	天の浮橋
岐阜県	恵那市	大井橋
静岡県	浜松市	枕瀬橋
三重県	菟野町	あかね橋

大阪府	大阪市	錦橋
奈良県	十津川村	谷瀬橋
岡山県	岡山市	相生橋
広島県	広島市	横川橋
徳島県	三好市	祖谷のかずら橋
愛媛県	西条市	伊曾の橋
高知県	安芸市	土居橋
長崎県	長崎市	長崎中島川石橋群
熊本県	山都町	通瀬橋
熊本県	津奈木町	あけぼの橋

ふれあいの水辺

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	鴨々川遊び場
北海道	福島町	新緑公園
岩手県	一関市	磐井川
宮城県	栗原市	迫川
山形県	山形市	馬見ヶ崎川
茨城県	潮来市	潮来漕艇場
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道
群馬県	桐生市	境野水処理センター屋上公園
千葉県	船橋市	街かど美術館
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園

神奈川県	小田原市	小八幡川親水護岸
富山県	小矢部市	花島蒲の小矢部河川公園
岐阜県	岐阜市	早田川
愛知県	名古屋市	水の小径
滋賀県	近江八幡市	八幡堀
滋賀県	高月町	雨森
京都府	南丹市	大堰川・寅天堰
大阪府	岸和田市	古城川緑道
兵庫県	尼崎市	庫川六樋水系、ホタルの里づくり
鳥取県	鳥取市	流しびなの水辺
岡山県	岡山市	西川緑道公園
広島県	大崎上島町	野賀海岸
広島県	福山市	堂々公園
山口県	防府市	佐波川蛍の川
愛媛県	西予市	野村ダム公園
高知県	土佐町	早明湖ふれあい広場
福岡県	北九州市	槻田せせらぎ広場
佐賀県	佐賀市	多布施川水遊び場
大分県	竹田市	中島河川プール
宮崎県	小林市	本庄川河川プール

昭和62年度

いきいきとした楽しい街並み

都道府県	市区町村	件名
青森県	田子町	サンモールたっこ
宮城県	仙台市	一番街ショッピングモール
秋田県	秋田市	秋田駅前買物広場
山形県	酒田市	酒田市ショッピングモール
福島県	会津若松市	大町通り
茨城県	日立市	日立銀座ショッピングモール
土浦市	土浦市	川口ショッピングモール
埼玉県	川口市	ショッピングモールふじの市通り
千葉県	香取市	小野川周辺の町並

東京都	中央区	馬喰町商店街
東京都	足立区	東和銀座商店街
神奈川県	横浜市	イセザキモール
新潟県	十日町市	雪まつりと流雪満のまち
富山県	高岡市	ふれあいの橋通り
富山県	南砺市	合掌家屋と民謡こきりこの里
山梨県	甲府市	かすがもーる
長野県	佐久市	中込グリーンモール
岐阜県	岐阜市	美殿町通り
岐阜県	可児市	桜ヶ丘ハイツの街並みと家並み
京都府	京都市	三条通り歴史のかいわい景観地区

大阪府	岸和田市	岸和田駅前通り
兵庫県	神戸市	北野町山本通
和歌山県	高野町	高野町内街路
岡山県	高梁市	ふれあい広場と美観地区
徳島県	徳島市	紺屋町シンボルロード
福岡県	福岡市	大橋駅前通り
佐賀県	有田町	陶磁の香りのする駅前通り
大分県	日田市	日田の街並
宮崎県	日南市	本町商人通りの街並

ふれあいの並木道

都道府県	市区町村	件名
北海道	釧路市	出世坂
岩手県	北上市	展勝地公園
宮城県	仙台市	仙台市ケヤキ並木
山形県	高島町	まほろばの緑道
茨城県	日立市	けやき通りと歩道
栃木県	さくら市	桜並木線
群馬県	前橋市	ふるさとのケヤキ並木
埼玉県	春日部市	藤どおり
埼玉県	草加市	草加松原遊歩道
東京都	世田谷区	けやき広場
神奈川県	横浜市	大岡川プロムナード
神奈川県	川崎市	市役所通りモール
富山県	富山市	松川べり
石川県	金沢市	中央公園通り
岐阜県	中津川市	四ッ目川の桜並木
岐阜県	恵那市	岩村城登城坂
静岡県	浜松市	二俣川“水辺の桜並木”
三重県	津市	三多気の桜
大阪府	大阪市	みおつくしプロムナード
兵庫県	神戸市	税関線シンボルロード
兵庫県	宝塚市	花のみち
奈良県	橿原市	橿原神宮公園線の並木道
岡山県	岡山市	鳥城みち
広島県	呉市	美術館通り
広島県	竹原市	あいふる316
山口県	光市	なぎさへの道
高知県	土佐清水市	足摺岬の散歩道
福岡県	北九州市	出あい坂
長崎県	島原市	白土湖畔緑道
沖縄県	久米島町	フクギ並木と道路

水辺の風物詩

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	せせらぎ小路
岩手県	盛岡市	御所湖広域公園



秋田県	大仙市	雄物川河川緑地
栃木県	下野市	大松山運動公園
埼玉県	さいたま市	千貫樋水郷公園
千葉県	千葉市	稲毛海浜公園
新潟県	新潟市	早川堀のイメージ復元
富山県	黒部市	黒部川扇状地の湧水群
石川県	金沢市	浅野川〜加賀友禅灯ろう流し
福井県	大野市	お清水
長野県	上田市	長池公園のせせらぎ広場
静岡県	浜松市	森の水車
愛知県	名古屋市	宮の渡し公園
愛知県	名古屋市	庄内用水緑道
滋賀県	愛荘町	新愛知川フラワーブloomナード
大阪府	大阪市	河川(今川)「せせらぎの復活」
和歌山県	白浜町	白良浜
鳥取県	湯梨浜町	東郷湖
島根県	松江市	北松江の宍道湖岸
広島県	廿日市市	紅葉谷川庭園砂防 ★H17大賞
広島県	安芸高田市	土師ダムスポーツランド ★H18大賞
山口県	山口市	一の坂川ホテル護岸 ★H17大賞
山口県	周南市	東川緑地公園
香川県	丸亀市	土器川河川敷広場
愛媛県	大洲市	肱川の鶴飼
高知県	高知市	鏡川みどりの広場
福岡県	朝倉市	朝倉の三連水車
熊本県	宇土市	轟水源
大分県	別府市	境川の水辺
鹿児島県	加治木町	網掛川

昭和63年度

小さなふれあい広場

都道府県	市区町村	件名
岩手県	奥州市	蔵のあるポケットパーク
宮城県	加美町	さわざくら公園
山形県	鶴岡市	やすらぎ広場
茨城県	古河市	古河市庁舎広場
群馬県	館林市	富士原憩の森
埼玉県	川口市	辰井公園
埼玉県	草加市	おせん茶屋
埼玉県	さいたま市	うらわセントラルガーデン
東京都	港区	パテオ十番おまつり広場
東京都	荒川区	日暮里南公園噴水広場
神奈川県	横浜市	金沢埋立地水際線緑地
新潟県	十日町市	あじさい公園
長野県	岡谷市	高架下公園
岐阜県	岐阜市	西野町コミュニティ水路
岐阜県	高山市	市制50周年記念公園 中橋公園
滋賀県	甲賀市	みよで公園
大阪府	大阪市	御津公園(タウンスクウェア)整備
兵庫県	神戸市	摂津本山駅前広場
鳥取県	鳥取市	鳥取駅南モニュメント広場
岡山県	鏡野町	鏡野万葉のみちシンボル広場
広島県	福山市	春日池公園
山口県	防府市	西佐波緑地
香川県	高松市	北部コミュニティ広場
愛媛県	今治市	片原緑地
愛媛県	大洲市	丸山公園
福岡県	福岡市	水上公園

長崎県	長崎市	丸山公園
長崎県	島原市	浜の川共同洗い場
大分県	中津市	耶馬溪ダム記念公園
沖縄県	浦添市	屋富祖ポケットパーク

ふるさとに恵みを与える川

都道府県	市区町村	件名
岩手県	盛岡市	山岸せせらぎ水路
岩手県	宮古市	津軽石川堤防
岩手県	花巻市	田瀬湖ふるさと湖畔
宮城県	加美町	鳴瀬川中新田緑地
秋田県	横手市	横手市の流雪溝
茨城県	大子町	久慈川親水護岸
東京都	大田区	旧六郷用水の文化遺産保存事業
神奈川県	横浜市	和泉川親水広場
神奈川県	川崎市	ニヶ領用水(宿原原線) ★H17大賞

新潟県	加茂市	加茂川修景
富山県	南砺市	七福の森・向川砂防堰堤
福井県	若狭町	浦見川
山梨県	身延町	下部リバーサイドパーク
山梨県	甲斐市	信玄堤 ★H19大賞
山梨県	南アルプス市	滝沢川公園
長野県	中川村	理兵衛堤防
岐阜県	飛騨市	瀬戸川
滋賀県	安土町	鏡の浜
兵庫県	神戸市	住吉川清流
兵庫県	姫路市	運河公園
和歌山県	紀の川市	せせらぎ水辺
岡山県	総社市	砂川公園
広島県	広島市	古川せせらぎ河川公園
山口県	下関市	壇貝川
山口県	萩市	藍場川
徳島県	阿南市	万代堤
香川県	まんのう町	満濃池
高知県	四万十市	渡川第二緑地
高知県	香美市	物部川緑地公園
佐賀県	有田町	自然とのふれあい空間

やすらぎとおいしいのある歩道

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	七条緑道イルミネーション
青森県	青森市	遊歩道緑地・平和公園
秋田県	秋田市	山王散歩道
福島県	福島市	市道中町御山町線コミュニティ道路
栃木県	日光市	くろがね橋歩道
群馬県	大泉町	いずみ緑道
埼玉県	八潮市	松之木どろんどろん遊歩道
千葉県	市川市	桜並木の散策路
東京都	港区	ふれあいの道(竹芝橋〜増上寺)
東京都	町田市	尾根緑道
神奈川県	横浜市	磯子アベニュー
神奈川県	藤沢市	引地川(川べり遊歩道)
神奈川県	相模原市	横浜水道道緑道
石川県	金沢市	香林坊地下道
静岡県	沼津市	蛇松緑道
愛知県	名古屋市	中村参道緑道
三重県	鈴鹿市	四季の道
滋賀県	甲賀市	炎の美通り
大阪府	豊中市	堂舞い飛ぶ自然の親水緑道
兵庫県	神戸市	酒蔵の道

奈良県	奈良市	奈良三条通り
鳥取県	鳥取市	旧袋川通り左岸線彫刻の道
島根県	松江市	浜乃木ふれあいモール
広島県	広島市	藤棚の道
広島県	呉市	蔵本通り
山口県	光市	水鳥の道
愛媛県	松山市	遊歩道熟田津の道
福岡県	北九州市	三萩野やすらぎ通り
宮崎県	宮崎市	後田川緑道 ★H19大賞
鹿児島県	知覧町	清流溝と池

平成元年度

いこいとふれあいの道

都道府県	市区町村	件名
北海道	下川町	万里の長城遊歩道
北海道	洞爺湖町	湖畔通り ★H17大賞
秋田県	秋田市	中土橋通り
山形県	尾花沢市	「歴史の道」
福島県	福島市	都市計画道路野田線
埼玉県	さいたま市	ショッピングモールさくら草通り
千葉県	鴨川市	海浜ブloomナード(鴨川潮さい公園)
東京都	足立区	北千住サンロード
東京都	国分寺市	お鷹の道遊歩道 ★H17大賞
新潟県	新潟市	西海岸公園の散策路
新潟県	長岡市	駅東歩行者専用道(長岡シンボルロード)
石川県	白山市	歴史を刻み今に残すふれあいのみち
石川県	七尾市	万葉の里コミュニティ道路
山梨県	早川町	やすらぎの参道
岐阜県	中津川市	中津川遊歩道公園
愛知県	名古屋市	ジョギングロード
京都府	福知山市	三段池公園
大阪府	堺市	学園ロード整備事業
大阪府	高槻市	阿武野緑道
兵庫県	姫路市	城西44号線
兵庫県	西宮市	市役所前線
兵庫県	猪名川町	彫刻の道
兵庫県	播磨町	緑道であいのみち
広島県	広島市	並木通り ★H19大賞
山口県	萩市	しる魚の道
愛媛県	今治市	県木の森ふれあい散策道
高知県	高知市	長浜654号線
佐賀県	有田町	有田文様の道
長崎県	佐世保市	佐世保川岸緑道ブloomナード・ギャラリー
熊本県	熊本市	長堀通り

生活の中にいきる水辺

都道府県	市区町村	件名
茨城県	日立市	鮎川ロマンチックライン
群馬県	神流町	清流神流川
埼玉県	川口市	芝川、水とみどりの遊歩道
埼玉県	草加市	西町緑道水路
埼玉県	蕨市	要害通りせせらぎ遊歩道
東京都	世田谷区	兵庫島河川公園
神奈川県	横浜市	三ッ沢せせらぎ緑道
神奈川県	相模原市	花と芝生の広場
神奈川県	秦野市	水無川緑地 ★H17大賞
新潟県	新潟市	じゅんさい池公園ホテルの里

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

新潟県	新発田市	五十公野公園 (アヤマ園)
富山県	砺波市	砺波チューリップ公園
石川県	金沢市	鞍月用水
福井県	敦賀市	二夜の川
岐阜県	郡上市	やなか水の小径
岐阜県	高山市	滝谷流路工
愛知県	名古屋	アーバン・オアシス
愛知県	岡崎市	岡崎市乙川噴水
大阪府	大阪市	楠根川跡緑陰歩道
大阪府	八尾市	玉串川桜並木
奈良県	大和郡市	紺屋町憩いの川
和歌山県	田辺市	川湯野宮場
鳥取県	日野町	板井原川
岡山県	高梁市	白谷川公園
山口県	長門市	音信川河川公園
福岡県	北九州市	金山川水辺の里
大分県	中津市	津民川河川プール
宮崎県	都城市	観音池公園
鹿児島県	曾於市	向江公園
沖縄県	那覇市	開南せせらぎ通り

歴史をいかした街並み

都道府県	市区町村	件名
北海道	小樽市	ロマネスク・イルミネーション小樽
青森県	弘前市	仲町伝統的建造物群保存地区
岩手県	盛岡市	北山寺院群地区
宮城県	七ヶ宿町	奥州山中七ヶ宿
宮城県	加美町	並柳HOPE住宅の家並とかわい
山形県	酒田市	松山城周辺景観整備
茨城県	水戸市	歴史ロード
栃木県	足利市	足利学校・ぼんな寺参道のまちなみ修景 ★H17大賞
群馬県	渋川市	白井宿の町並み
埼玉県	さいたま市	鐘塚公園
東京都	府中市	府中市郷土の森 ★H17大賞
神奈川県	横浜市	ライトアップ・ヨコハマ ★H17大賞
富山県	南砺市	相倉合掌集落
長野県	塩尻市	奈良井宿の家並み ★H17大賞
静岡県	静岡市	巽櫓と家康公の散歩道
静岡県	松崎町	なまこ壁の通り
愛知県	豊田市	塩の道・三州足助の町並み ★H17大賞
三重県	亀山市	東海道関宿の町並み ★H17大賞
滋賀県	長浜市	ながはま御坊表参道 ★H17大賞
兵庫県	尼崎市	寺町地域散策道
島根県	松江市	松江塩見縄手
島根県	大田市	石見銀山御料・大森の町並み ★H18大賞
岡山県	津山市	商家の町並
広島県	東広島市	酒蔵のあるまち並み ★H23大賞
山口県	柳井市	白壁の町並み ★H18大賞
徳島県	三好市	池田町西町本部町内会
香川県	さぬき市	源内通り (町道寺町越窓線)
愛媛県	内子町	木蛸と白壁の町並み ★H18大賞
福岡県	朝倉市	秋月の街並
大分県	竹田市	殿町武家屋敷通り ★H17大賞

平成2年度

街灯のある街角

都道府県	市区町村	件名
岩手県	盛岡市	赤レンガ建物のライトアップとガス灯
宮城県	仙台市	ガス灯のある街 五番街
茨城県	牛久市	シャトー通り
茨城県	つくば市	交差点ゲートサイン
栃木県	宇都宮市	まちかど広場
埼玉県	川口市	本町通り
埼玉県	草加市	草加六丁目橋
千葉県	市川市	市川市文化会館アプローチ歩道
東京都	北区	音無親水公園
東京都	江戸川区	太陽エネルギー灯
神奈川県	横浜市	新横浜駅前プロムナード整備事業
神奈川県	秦野市	秦野駅前歩行者専用道
新潟県	新潟市	八千代橋
富山県	朝日町	紅灯よみがえる神田町
富山県	南砺市	合掌のこもれ灯
石川県	加賀市	万松園通線
福井県	越前町	ハナミズキ通り
長野県	塩尻市	贄川関所散策小道
静岡県	浜西市	サンクンガーデンとギャラリーモールド
静岡県	河津町	踊子歩道
滋賀県	守山市	ほたるをモチーフにした街路灯通り
京都府	京都市	五条坂街灯のある清水焼の街
鳥取県	日南町	生山街路灯
岡山県	倉敷市	倉敷川ロマンティック街灯
広島県	呉市	五月橋
山口県	周南市	緑と文化のプロムナード
香川県	宇多津町	宇多津駅公園線
愛媛県	今治市	ヤナギの並木みち
愛媛県	佐賀市	松原川ロマンティックエリア
鹿児島県	鹿児島市	ガス灯のともる歴史と文化の道

生活を支える自然の水

都道府県	市区町村	件名
北海道	釧路市	しゃも寅の井戸
北海道	京極町	ふきだし公園 ★H17大賞
青森県	田子町	熊原川 (みろくの滝)
秋田県	湯沢市	力水
秋田県	美郷町	御台所清水
福島県	福島市	耳取川親水公園
栃木県	鹿沼市	せせらぎ水路
群馬県	みなかみ町	旧三國街道須川宿堰 ★H19大賞
東京都	足立区	防災路地緑化 ★H17大賞
東京都	日野市	黒川清流公園 ★H18大賞
石川県	中能登町	イワシガ池
山梨県	甲斐市	竜王町信玄堤公園
北杜市	北杜市	三分一湧水
岐阜県	下呂市	天王水
静岡県	富士宮市	芝川水源
愛知県	岩倉市	五条川親水護岸等
三重県	四日市市	智積養水
高知県	高知県	大溝祭曳山道整備事業
島根県	出雲市	高瀬川
広島県	安芸高田市	いなだ橋遊魚園
山口県	下関市	深坂自然の森

徳島県	徳島市	新町川水際公園整備事業
徳島県	徳島市	名水阿波錦竜水
愛媛県	久万高原町	みみど公園
高知県	四万十市	渡川 (四万十川)
福岡県	北九州市	黒ヶ畑池
長崎県	島原市	鯉の泳ぐまち
熊本県	合志市	東谷川ホタルブロックと寛永堀橋
大分県	竹田市	芦川河川プール
沖縄県	糸満市	嘉手志川

花と緑の手づくりふるさと

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	ジャーマンアイリス広場
北海道	滝川市	空知川緑地コスモス広場
青森県	十和田市	官庁街通り
岩手県	盛岡市	木伏緑地と新築地花壇
秋田県	秋田市	山王大通り
秋田県	由利本荘市	憩いの町南御門町
福島県	二本松市	町道補沢・石橋緑地
茨城県	取手市	小貝川フラワーベルト事業
栃木県	足利市	渡良瀬河川公園中橋緑地
群馬県	高崎市	城址親水公園
埼玉県	久喜市	清久ふれあい四季の径
千葉県	香取市	十間川親水緑道
東京都	北区	荒川赤羽緑地・お花畑
東京都	江戸川区	葛西親水四季の道 ★H27大賞
新潟県	新潟市	信濃川リバーサイド緑地
富山県	南砺市	国道304号フラワーライン
石川県	金沢市	浅野川水と緑のふれあい広場
静岡県	松崎町	花のジョギングコース
静岡県	浜松市	フラワーロマンロード中部
静岡県	浜松市	舞阪町流域関連公共下水道水緑景観モデル事業
兵庫県	神戸市	アジサイの道
岡山県	岡山市	川川緑地
岡山県	倉敷市	倉敷西小学校生け垣
山口県	周南市	花と緑のまちづくり
愛媛県	大洲市	富士山公園
高知県	高知市	春野町アジサイ街道 ★H18大賞
福岡県	北九州市	夜宮公園の花菖蒲
福岡県	久留米市	筑後川くめつづじ園
佐賀県	東与賀町	シチメンソウ・干潟の散歩道
宮崎県	宮崎市	天ヶ城運動公園のさくら広場

ふるさとの坂道

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	宮の森モーター彫刻の道
岩手県	花巻市	早坂
秋田県	能代市	きみまち坂
秋田県	羽後町	七曲峠
山形県	遊佐町	上蔵岡地区 (通称W坂)
福島県	二本松市	市道 竹田～亀谷坂線
神奈川県	横浜市	水の坂道
富山県	小矢部市	源平古戦場の坂道
石川県	金沢市	石伐坂
山梨県	身延町	句碑の里づくり
長野県	大町市	塩の道
長野県	野沢温泉村	大湯坂
岐阜県	飛騨市	藤波八丁坂景観整備
岐阜県	高山市	ふる里ふれ愛の径
静岡県	静岡市	県立美術館への道



静岡県	富士市	今泉八丁目
静岡県	河津町	湯坂
愛知県	常滑市	やきもの散歩道内土管坂 ★H19大賞
愛知県	新城市	県道鳳来寺山公園線
大阪府	堺市	初霜坂
大阪府	岸和田市	阿閩河滝町の坂道
島根県	津和野町	殉教の道乙女峠
岡山市	岡山市	吉備の中山遊歩道
広島県	尾道市	歴史のただよう坂道
高知県	梺原町	維新トンネル
福岡県	北九州市	彩霧坂
佐賀県	有田町	陶祖坂
熊本県	美里町	日本一石段
大分県	杵築市	勘定場の坂
宮崎県	都城市	観音池通線

平成3年度

施設部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	豊平リソグ並木
北海道	白老町	町道中央通り
宮城県	柴田町	柴田町縦の木広場
福島県	喜多市	蔵と曲がり家の里
茨城県	日立市	日立新都市広場
群馬県	高崎市	群馬音楽センター前庭
埼玉県	鳩ヶ谷市	御成坂公園
千葉県	御宿町	御宿町「月の沙漠通り」
東京都	世田谷区	次大夫堀公園
東京都	足立区	虹の広場
神奈川県	横浜市	泥亀公園及び金沢区庁舎外構整備事業
新潟県	長岡市	長生橋東詰広場
富山県	高岡市	八丁道
富山県	南砺市	利賀そばの郷
石川県	加賀市	こおろぎ橋
岐阜県	中津川市	福岡ローマン渓谷遊歩道
静岡県	静岡市	常磐公園
静岡県	浜松市	篠原川親水護岸
三重県	松阪市	御城番通り線
滋賀県	守山市	たちばな川周辺整備
京都府	舞鶴市	三安橋（メロディ橋）
兵庫県	神戸市	六甲アイランドリバーモール（水路広場）
広島県	福山市	平家谷・花しょうぶ園
山口県	山陽小野田市	有帆ホテル川公園
徳島県	阿波市	国際花と緑の博覧会出展メモリアルパーク
愛媛県	西条市	西条市公共下水道雨水観音水幹線 ★H19大賞
大分県	杵築市	悠久の時を超え、仏の里の橋めぐり
宮崎県	美郷町	日韓交流のシンボル百済の館
鹿児島県	菱刈町	菱刈町・湯之尾滝ガラッパ公園
沖縄県	浦添市	市道3号線

素材部門

都道府県	市区町村	件名
青森県	黒石市	津軽こけし館
岩手県	遠野市	大工町通り
宮城県	登米市	玄昌石の館
秋田県	秋田市	新都市大通線

福島県	三春町	八島坂
茨城県	高萩市	高萩市立松岡幼稚園
茨城県	笠間市	笠間駅前広場
栃木県	宇都宮市	釜川水辺環境整備事業「ロマンチックドーム」
群馬県	桐生市	水沼運動公園
埼玉県	川口市	東川口駅南口駅前広場
新潟県	長岡市	妙見堰広場
石川県	金沢市	玉川公園
長野県	下諏訪町	ジョギングロード
静岡県	伊豆市	アイデアゴミ収集場
愛知県	瀬戸市	今村橋
三重県	桑名市	七里の渡跡
三重県	伊賀市	伊賀上野橋
滋賀県	近江八幡市	近江商人通り
兵庫県	姫路市	姫路文学館
兵庫県	南あわじ市	歴史資料橋「御原橋」
島根県	大田市	仁摩サンドミュージアム
岡山県	岡山市	桃太郎広場（水辺のももくん）
徳島県	徳島市	徳島市立福島小学校周辺修繕工事
愛媛県	砥部町	磁器片によるモザイク壁画
福岡県	北九州市	公共サイン（案内標識）
佐賀県	有田町	唐臼のある水辺
熊本県	荒尾市	岩本橋と河川公園
熊本県	小国町	ゆうステーションと周辺整備
沖縄県	石垣市	於茂登トンネル杭門（玉乗り獅子）
沖縄県	竹富町	白い道路と町並み

平成4年度

くらしに根づく施設

都道府県	市区町村	件名
北海道	栗山町	レンガ通り歩道
岩手県	久慈市	山根六郷「桂の広場」
山形県	金山町	水と親しむふれあい小路
福島県	いわき市	太古へのタイムスリップ、海竜橋
茨城県	水戸市	甍がえる備前堀
埼玉県	草加市	札場河岸公園
東京都	足立区	クレソンプロムナード
東京都	葛飾区	堀切四季のみち
神奈川県	横浜市	市ヶ尾彫刻のプロムナード整備事業
富山県	黒部市	宇奈月不動の滝公園
石川県	輪島市	千枚田ポケットパーク ★H26大賞
山梨県	中央市	郷土の歴史を伝える公園
岐阜県	郡上市	吉田川鮎はね床止
静岡県	岡部町	玉露の里
愛知県	名古屋市長	荒子川
三重県	熊野市	水とみどりのある砂防事業
滋賀県	近江八幡市	湧水の里
大阪府	大阪市	水と緑のふれあいスペース
鳥取県	智頭町	杉の木村公園
島根県	奥出雲町	神話と鉄道の道「可部屋大橋」
島根県	雲南市	せせらぎ工
広島県	尾道市	せとだびエナーレ ★H19大賞
山口県	周南市	石光川親水公園
愛媛県	松山市	杖の淵公園
愛媛県	内子町	豊秋橋

熊本県	山鹿市	鍋田水遊び公園
宮崎県	延岡市	楽しさを演出するふれあい道路
宮崎県	南郷町	たいとり河川プール
鹿児島県	川辺町	岩屋公園平安橋
沖縄県	宜野湾市	ふんしんせせらぎ通り

ふるさとの色と光

都道府県	市区町村	件名
北海道	江別市	野幌グリーンモール噴水
青森県	弘前市	城西大橋
青森県	むつ市	来さまい橋通り
宮城県	涌谷町	湧谷町城山公園と桜
秋田県	湯上市	天王スカイタワー
福島県	須賀川市	釈迦堂川いこいの河畔
栃木県	宇都宮市	都市計画道路「駅東・宿郷通り」
埼玉県	八潮市	八潮市中央公園野外ステージオブジェ広場
東京都	足立区	八か村落し親水緑道
神奈川県	大和市	泉の森緑のかけ橋
新潟県	新潟市	郷愁とめくもりのともしび
富山県	富山市	禅寺橋
石川県	白山市	公共ゲートサイン柱
長野県	須坂市	水道桜木町線
静岡県	掛川市	秋葉路
三重県	桑名市	藤が丘デザイン公園
京都府	宇治市	歴史と緑の散策道
大阪府	吹田市	光と色によるしたしみの空間
兵庫県	姫路市	今宿2号線
鳥取県	三朝町	恋谷橋
鳥取県	鳥取町	スイングベルの塔
岡山県	美作市	作東バレンタインプラザ
山口県	岩国市	吉香公園の大放射噴水
山口県	山口市	光のタワー
香川県	丸亀市	丸亀駅前広場「歴史と文化の香るふれあい広場」
福岡県	北九州市	西町大橋（火の橋）
佐賀県	唐津市	城内橋
大分県	佐伯市	ミュージアムパーク鶴御崎・展望ブリッジ
鹿児島県	奄美市	花とあいさつの咲くロード
沖縄県	那覇市	久茂地川親水遊歩道

平成5年度

自然とふれあう水辺づくり

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	安春川
北海道	沼田町	ほたるの里 ★H18大賞
青森県	大鰐町	平川親水公園
岩手県	北上市	水と緑の和賀川ふれあい広場
山形県	米沢市	歴史堤公園
福島県	二本松市	てっせんさぼう公園
茨城県	土浦市	霞ヶ浦総合公園水辺地区整備事業
埼玉県	さいたま市	六辻水辺公園
東京都	調布市	調布市深大寺水車館
神奈川県	横浜市	長浜公園・野鳥観察園
神奈川県	大和市	上草柳多目的利用調整池
石川県	白山市	安産川せせらぎふれあい空間整備事業
岐阜県	岐阜市	清水川コミュニティ水路
静岡県	伊東市	奥野ダム（松川湖畔）公園施設

三重県	松阪市	リバーサイド茶倉
滋賀県	大津市	ふるさと吟遊芭蕉の里
滋賀県	近江八幡市	往古の湧水池
滋賀県	野洲市	祇王井川
京都府	亀岡市	古世親水公園
兵庫県	篠山市	かじかの里（わんぱく広場）
鳥取県	倉吉市	せせらぎ親水広場
山口県	下関市	しめだ川親水護岸
徳島県	吉野川市	江川・鴨島公園
香川県	まんのう町	土器川親水護岸
愛媛県	西予市	城川町宝泉坊ふれあいの水辺
高知県	四万十市	黒尊川
福岡県	北九州市	グリーンパーク（響灘緑地）
福岡県	粕屋町	駕与丁公園
熊本県	菊池市	鴨川河川公園
宮崎県	綾町	名水庭園

出会いを演出する街角

都道府県	市区町村	件名
北海道	清水町	ハーモニー広場
岩手県	釜石市	青葉通り緑地
宮城県	仙台市	社と水のみち宮城野通
宮城県	美里町	小牛田町駅前大通
秋田県	由利本荘市	矢島町「ふれあい公園」
山形県	鶴岡市	ピコット銀座
山形県	天童市	天童市の新しい顔づくり
茨城県	下妻市	下妻市営大宝住宅
茨城県	常総市	せせらぎ公園
栃木県	鹿沼市	屋台公園
群馬県	高崎市	姉妹都市公園
群馬県	草津町	鷲乃湯跡地ポケットパーク
埼玉県	川口市	樹モール（グリーンプラザ）
千葉県	市川市	i i ロード市川
東京都	世田谷区	ゆずり橋
東京都	葛飾区	亀有さくら通り
神奈川県	厚木市	厚木中町地下道線
静岡県	静岡市	青葉シンボルロード
愛知県	名古屋市長古屋市	広小路通
三重県	四日市市	ふれあいモール
三重県	伊勢市	これわ伊勢モール
滋賀県	高島市	高島駅前ガリバーメルヘン広場
大阪府	枚方市	出合いのブロムナード香里こもれび水路
岡山県	総社市	カミカツジプラザ（神が辻）
広島県	庄原市	リストア・ステーション
山口県	宇布市	シンボルロード駅通線
徳島県	徳島市	徳島市新町小学校周辺修景事業
福岡県	北九州市	中の橋（太陽の橋）
鹿児島県	鹿児島市	みなと大通り公園
沖縄県	浦添市	大平バス停パーク

ふるさとの風景にとけむ道

都道府県	市区町村	件名
北海道	函館市	都市計画道路8・6・2港が丘通
北海道	旭川市	フラワーロード
山形県	新庄市	もみの木のみち
山形県	河北町	都市計画道路 北口所岡線
福島県	須賀川市	翠ヶ丘公園 万葉の径
茨城県	筑西市	大橋
栃木県	那珂川町	すずかけ清新ロード
群馬県	前橋市	前橋駅南口土地区画整理事業
千葉県	いすみ市	日の出橋

東京都	北区	赤羽台トンネル地上部
東京都	足立区	竹の塚彫刻の道
東京都	葛飾区	水元さくら堤
新潟県	長岡市	都市計画道路 金町金沢線
富山県	射水市	おおしまリンクロード
福井県	越前市	和紙の里通り
静岡県	島田市	旧東海道金谷坂石畳
滋賀県	守山市	楓三道
大阪府	羽曳野市	歴史文化のみち東高野
兵庫県	芦屋市	芦屋市道186号線 コミュニティ道路
鳥取県	倉吉市	緑の彫刻ブロムナード
島根県	雲南市	ゆけむり大橋
広島県	東広島市	フルバール
徳島県	小松島市	中田駅新港線 自転車歩行者専用道
徳島県	美馬市	南橋
高知県	高知市	桂浜花海道
佐賀県	鳥栖市	東橋
佐賀県	有田町	ロマンティック・ポーセリン街道
大分県	由布市	水辺をたどる径づくり
鹿児島県	さつま町	竹取り通り
沖縄県	北谷町	美浜橋

平成6年度

人々が集い憩う水辺づくり

都道府県	市区町村	件名
宮城県	白石市	水と石との語らいの公園
宮城県	富谷町	しんまち公園
福島県	福島市	荒川桜づつみ河川公園
埼玉県	戸田市	ささ舟の路
埼玉県	八潮市	八条親水公園
東京都	世田谷区	呑川親水公園
東京都	北区	北区立浮間つり堀公園
東京都	荒川区	あらかわ遊園スーパー堤防（水上ステージ）
東京都	葛飾区	こあゆの小路
神奈川県	大和市	ふれあい広場
富山県	射水市	東橋
石川県	加賀市	大聖寺ふれあい広場「古九谷の杜」
福井県	池田町	稲荷河川公園（一級河川足羽川）
岐阜県	郡上市	いがわこみち
滋賀県	大津市	堅田・宮ノ切
京都府	福知山市	福知山城公園親水広場
京都府	城陽市	緑と水辺のやすらぎ回廊
鳥取県	八頭町	姫路公園（私都川）
広島県	広島市	西部河岸緑地（吉島橋下流260m左岸）
山口県	周南市	湯野・夜市川水辺環境整備
徳島県	徳島市	助任川河岸緑地整備事業
徳島県	藍住町	東中富親水公園
香川県	まんのう町	ほたる見公園
愛媛県	大洲市	小浦リバーサイドスポーツパーク
高知県	越知町	越知町宮の前公園
長崎県	雲仙市	千々石川河川公園
長崎県	雲仙市	金浜眼鏡橋
宮崎県	高原町	皇子原公園
鹿児島県	奄美市	赤木並木とせせらぎ通り

沖縄県	那覇市	壺川東公園
-----	-----	-------

ふるさとの文化を育む街角の広場

都道府県	市区町村	件名
岩手県	花巻市	吹張町ポケットパーク
岩手県	紫波町	日話ふれあい広場
秋田県	秋田市	秋田駅前広場
福島県	郡山市	フロンティア通り
福島県	南会津町	会津田島ふれあい広場
茨城県	水戸市	松風軒
栃木県	栃木市	蔵の街広場
群馬県	高崎市	高崎駅西口駅前広場
埼玉県	川口市	ゴリラ広場
埼玉県	埼玉市	塚越コミュニティ道路
東京都	足立区	千住宿歴史ブチテラス
山梨県	富士河口湖町	太陽と虹の花壇
滋賀県	高島市	マキノ駅前アミューズメントプラザ
滋賀県	高島市	街角ふれあい交流広場修景事業
京都府	木津町	木津町ふれあい広場
兵庫県	神戸市	出合いが始まる円形広場（井吹台中公園）
鳥取県	米子市	多目的広場（水鳥広場）
島根県	出雲市	市民コミュニティ広場
岡山県	総社市	文化筋公園
山口県	山口市	山大通りと街かど広場
山口県	柳井市	古市金屋線まちかど広場
徳島県	鳴門市	都市計画道路吉永西小川線のポケットパーク
徳島県	小松島市	小松島ステーションパーク
香川県	丸亀市	みなと公園
佐賀県	唐津市	時の太鼓周辺整備
佐賀県	有田町	アートギャラリー「陶磁の里」
佐賀県	大町町	駅前ふれあい広場
長崎県	長崎市	湊公園
宮崎県	日南市	ふれあい通りふるさと公園
沖縄県	宜野湾市	真志喜ポケットパーク

ふるさとを紹介する道

都道府県	市区町村	件名
北海道	釧路市	米町ふるさとふれあいの街並み
青森県	深浦町	猿神鼻岩洞門
岩手県	盛岡市	材木町コミュニティ道路
宮城県	石巻市	浜辺のホエールロード
山形県	酒田市	山居橋
福島県	会津若松市	北出丸大通り
福島県	喜多方市	都市計画道路一本木上・花園線
栃木県	佐野市	原人ロード
群馬県	沼田市	吹割渓谷遊歩道
千葉県	香取市	樋橋
千葉県	酒々井町	町道01-001号線
新潟県	新発田市	無限の大地
富山県	富山市	歴史的町並み諏訪町本通り
富山県	高岡市	せせらぎ公園と岸渡川五橋（高欄）
長野県	東御市	旧北国街道海野宿
岐阜県	岐阜市	ときわ歩道トンネル「ドリム」
三重県	伊勢市	おはらい町通り「石畳の道」
大阪府	岸和田市	歴史のみち 紀州街道
兵庫県	尼崎市	近松の里（道路修景整備）
奈良県	橿原市	今井の町並みとみち

★H19大賞



奈良県	明日香村	岡寺参道
島根県	出雲市	斐川ふるさと通り
岡山県	岡山市	臨港鉄道跡地整備
広島県	呉市	青山通り
山口県	美祿市	カルストロード八重広谷線
徳島県	美馬市	旧穴吹橋モニュメント
香川県	高松市	観月橋
高知県	本山町	本山大橋
福岡県	北九州市	紫川大橋（海の橋）
宮崎県	延岡市	ふれあい遊歩道とうさぎ橋

平成7年度

コミュニティー部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	ふれあいの郷公園
青森県	つがる市	かつば広場
岩手県	洋野町	種市駅前広場
宮城県	南三陸町	ふれあい公園
秋田県	由利本荘市	都市計画道路7・7・2 笹道線
山形県	山形市	市道七日町片町線コミュニティ道路
山形県	新庄市	新庄駅前ふれあい広場（愛称アピエス）
栃木県	栃木市	万町ポケットパーク
埼玉県	八潮市	
東京都	足立区	平成泉橋
東京都	文京区	音羽パークロード600
神奈川県	横浜市	大いたち橋・小いたち橋とい たち川プロムナード
石川県	加賀市	菊の湯ウヅジ
長野県	駒ヶ根市	赤穂南小学校通学道路
岐阜県	飛騨市	山田川河畔整備（通称三橋桜 通り）
静岡県	静岡市	清水山公園
愛知県	名古屋市	水道公園「水の丘」
三重県	紀北町	孫太郎オートキャンプ場
滋賀県	甲賀市	新水口宿（石橋地区）整備
京都府	南丹市	由良川水辺環境整備事業
鳥取県	境港市	屋外彫刻ロード
広島県	三原市	宮浦公園
山口県	宇部市	真綿大橋
徳島県	上勝町	正木ダム周辺環境整備事業
香川県	三豊市	財田川水辺公園・河川敷公園
愛媛県	西条市	西条運動公園
福岡県	北九州市	前田花尾町1号線（平野川）
福岡県	久留米市	ベルモール
長崎県	長崎市	唐八景公園
宮崎県	延岡市	亀井通線ポケットスペース
鹿児島県	鹿児島市	中央公園

自然部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	真狩村	真狩川河川公園整備事業
青森県	鯉ヶ沢町	中村川ふれあい公園
秋田県	由利本荘市	鳥海町法体園地
福島県	本宮町	沢田緑道
茨城県	下妻市	小貝川ふれあい公園
群馬県	館林市	館林市彫刻の小径
埼玉県	川口市	川口自然公園
埼玉県	志木市	いろは親水公園（こもれびの こみち）
東京都	世田谷区	谷戸川浄化施設

東京都	江戸川区	篠田堀親水緑道
神奈川県	横浜市	本牧市民公園トンポ池
神奈川県	厚木市	厚木市荻野運動公園野草園
富山県	高岡市	中田いきもの里公園
富山県	入善町	水の小径
石川県	能登町	恋路口マンチックパーク
山梨県	山梨市	万力公園
長野県	岡谷市	岡谷湖畔公園「いこいとやす らぎのゾーン」
静岡県	浜西市	万葉の森公園
滋賀県	彦根市	服部町ふれあい河川
滋賀県	近江八幡市	思いやりのある湧上の郷
京都府	舞鶴市	大波下白屋線
京都府	和らぎの道	
大阪府	大阪狭山市	市道天野福田線（あまの街道）
奈良県	広陵町	下水道水緑景観モデル事業 （ウォータースクエアプラン）
鳥取県	日野町	カヌーの里
島根県	雲南市	かみくの桃源郷
佐賀県	唐津市	呼子港トラフィックアミュー ズメント
大分県	竹田市	日本一のマラソン練習コース
宮崎県	都城市	山之口あじさい公園
沖縄県	うるま市	野鳥の森自然公園

歴史・文化部門

都道府県	市区町村	件名
宮城県	多賀城市	野田の玉川せせらぎ水路
福島県	二本松市	智恵子の杜公園
栃木県	壬生町	舟町通り
埼玉県	春日部市	竪穴式住居広場（内牧公園）
埼玉県	富士見市	水子貝塚公園
千葉県	市川市	内匠堀プロムナード
東京都	新宿区	若宮公園
東京都	足立区	伊興遺跡公園
神奈川県	横浜市	姫小島と水門
神奈川県	関川村	村道御野立・丸山公園線
福井県	越前市	剣豪の道
山梨県	市川三郷町	大門碑林公園
三重県	津市	上津部田城址公園
滋賀県	野洲市	生和の森修景整備事業
滋賀県	湖南市	石部駅前広場整備事業
滋賀県	高月町	芳洲国際通り
京都府	八幡市	やわた放生の景
京都府	福知山市	大江山シンボル整備事業
奈良県	大和郡山市	外堀緑地
和歌山県	新宮市	徐福公園
島根県	出雲市	若樋公園
岡山県	新見市	夢すき公園
広島県	広島市	中央公園（史跡広島城跡二の 丸周辺）
徳島県	徳島市	阿波史跡公園整備事業
愛媛県	砥部町	神の森大橋
佐賀県	小城市	史跡土生遺跡整備
佐賀県	唐津市	茶苑「海月」
佐賀県	有田町	古「有田への誘い」
鹿児島県	鹿児島市	南洲門前通り
沖縄県	嘉手納町	野国総管公園

平成8年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	手稲あけぼの公園

北海道	旭川市	井上靖通り
北海道	岩見沢市	利根別川千本桜並木道 ★H19大賞
岩手県	盛岡市	盛岡市新庄浄水場「水と社の 広場」
岩手県	北上市	詩歌の森公園
岩手県	滝沢村	滝沢総合公園ロックガーデン
岩手県	一関市	町宮住宅大明神団地
岩手県	住田町	葉山めがね橋水園
秋田県	大仙市	町宮住宅さくら団地
山形県	酒田市	せせらぎ
山形県	金山町	街の中の小さな蔵
千葉県	南房総市	ローズマリー公園
東京都	文京区	播磨坂さくら並木
東京都	足立区	都市農業公園
東京都	足立区	関原の森
東京都	江戸川区	平井駅北口広場・地下駐輪場
神奈川県	横須賀市	久里浜緑地コスモス・ポピー 広場
神奈川県	松田町	ミニSL山岳鉄道「お山の ポッポ鉄道」
新潟県	魚沼市	三ツ又砂防公園
富山県	黒部市	高橋川
福井県	鯖江市	西山公園
山梨県	南アルプス市	湧眼李の里「八田村ふるさと 文化伝承館」

岐阜県	海津市	羽根谷だんだん公園
愛知県	名古屋市	台町ふれあい公園
滋賀県	長浜市	北国街道の整備（絵になる道 づくり）
滋賀県	近江八幡市	かわらミュージアム
滋賀県	野洲市	行合ふれあい広場修景整備事業
鳥取県	米子市	米子水鳥公園
島根県	津和野町	鯉溜り
徳島県	藍住町	正法寺川公園（みどり橋）
香川県	高松市	牟礼町石匠の里公園
福岡県	北九州市	山田緑地
福岡県	久留米市	酒蔵とせせらぎ公園
佐賀県	伊万里市	秘窯の里
熊本県	嘉島町	矢形川湧水天然プール
宮崎県	日向市	牧水公園
沖縄県	糸満市	西崎親水公園

平成9年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	伊達市	まれふふれあい公園
岩手県	遠野市	遠野浄化センター
岩手県	宮古市	リバーパークにいさと
岩手県	洋野町	大野村産業デザインセンター ★H19大賞
秋田県	八郎潟町	せせらぎのある公園
山形県	小国町	白い森オートキャンプ場
埼玉県	蕨市	中山道ふれあい広場
埼玉県	神川町	金鑛清流公園
東京都	品川区	大森貝塚遺跡庭園
東京都	世田谷区	ふれあいの水辺（北沢川緑道）
東京都	江戸川区	左近川親水緑道
神奈川県	横浜市	舞岡公園
神奈川県	横浜市	和泉川「東山の水辺」
富山県	朝日町	ハーバルバレーおがわ
富山県	南砺市	瞑想の郷
石川県	白山市	獅子吼山麓の苑

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集



福井県	勝山市	桜づつみ整備事業
福井県	大野市	歴史の里
岐阜県	関市	津井谷ふるさと砂防公園
静岡県	静岡市	駿府城二之丸東御門
愛知県	設楽町	つぐ高原グリーンパーク
三重県	津市	マリナー河芸
京都府	亀岡市	水鳥のみち
大阪府	柏原市	アクアロードかしわら
兵庫県	養父市	福定親水公園
鳥取県	境港市	水木しげるロード ★H21大賞
鳥取県	日野町	黒坂カワコふれあい公園
島根県	奥出雲町	せせらぎの里 砂田川
岡山県	高梁市	風の舞台「石の風くるま」
広島県	三原市	やはた川自然公園
高知県	高知市	追手前公園地下駐輪場
高知県	四万十町	木の香る道づくり
福岡県	大川市	メロディロード
佐賀県	東与賀町	干潟ギャラリー
長崎県	長崎市	長崎公園
長崎県	波佐見町	やきもの公園
熊本県	八代市	砥崎の河原
熊本県	長洲町	甕った新塘水路
宮崎県	美郷町	西の正倉院
沖縄県	伊是名村	尚丹王御庭公園

平成10年度		
都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	ポプラ通中央緑地
北海道	芦別市	旭ヶ丘公園
青森県	弘前市	プレアデス(昴)のまちづくり
岩手県	花巻市	南部杜氏の里
秋田県	由利本荘市	陸の灯台「黄桜の里」
群馬県	伊勢崎市	子供のもり公園伊勢崎
埼玉県	飯能市	あけぼの子どもの森公園
埼玉県	深谷市	中宿歴史公園・道の駅おかべ
東京都	足立区	大門自然プチテラス
東京都	葛飾区	寅さんと矢切の渡しの「柴又公園」

東京都	江戸川区	平井駅通りふれあい道路
神奈川県	横浜市	入江川せせらぎ緑道
神奈川県	横浜市	いたち川・稲荷森の水辺
新潟県	新潟市	白山公園「燕喜館」
石川県	加賀市	大聖寺川ふるさとの川
福井県	大野市	元町会館(七間通り)
山梨県	身延町	身延駅前しょうにん通り
愛知県	田原市	旭町はなとき通り
三重県	四日市市	水と緑のせせらぎ広場
滋賀県	近江八幡市	上の湧水の里
京都府	亀岡市	祭にであう道づくり
大阪府	吹田市	水と緑のプロムナード
兵庫県	姫路市	手柄山中央公園
兵庫県	芦屋市	仲ノ池緑地
兵庫県	香美町	但馬高原植物園-瀬川平-
和歌山県	田辺市	ミュージアムパーク・たなべ
島根県	雲南市	清流と親しむやさしい水辺
岡山県	岡山市	池の内大池湖畔公園
岡山県	倉敷市	アンデルセン広場
岡山県	津山市	ごんご通り
広島県	呉市	狩留賀海浜公園
徳島県	徳島市	しんまちボードウォーク
愛媛県	大洲市	ふるさと公園
福岡県	北九州市	洲浜ひろば

長崎県	長崎市	長崎歴史探訪路
熊本県	玉名市	秋丸目鏡橋
大分県	豊後高田市	湯前公園
沖縄県	北谷町	北谷町宮栄口住宅

平成11年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	上川町	上川・層雲峡圏プラン65再整備計画
岩手県	雫石町	雫石銀河ステーション・ポランの広場
宮城県	仙台市	仙台市彫刻のあるまちづくり
秋田県	にかほ市	道の駅「象潟」ねむの丘
山形県	鶴岡市	ふるさとの水辺…内川
東京都	葛飾区	身近な水辺再生事業「四つ木めだかの小道」
東京都	江戸川区	宿川親水緑道
神奈川県	横浜市	江川せせらぎ
新潟県	村上市	まいづる公園
長野県	長野市	善光寺表参道大門町
岐阜県	岐阜市	玉宮通りまちづくり
愛知県	名古屋市	相生山緑地「オアシスの森」
滋賀県	守山市	自然にふれあう散歩道
滋賀県	野洲市	中山道・外和木の標
滋賀県	高月町	冷水寺胎内仏資料館
滋賀県	高島市	城下町活性化施設「びれっじ」
京都府	南丹市	スプリングスひよし
大阪府	羽曳野市	であいのみち
奈良県	広陵町	竹取公園
鳥取県	米子市	弓ヶ浜公園 みんなの遊具広場
岡山県	岡山市	オランダ東通り
岡山県	笠岡市	小田原庁門せせらぎの道
広島県	広島市	天神川プロムナード
山口県	防府市	防府市地域交流センター「アスピラート」
香川県	高松市	太田第2シンボル地区レインボーロード
愛媛県	松野町	虹の森公園
高知県	四万十町	道の駅「四万十大正」
福岡県	北九州市	畑貯水池周回自転車歩行者道路
長崎県	東彼杵町	河川公園 やすらぎの里
熊本県	山都町	ふれあい公園 社のいつみ
熊本県	天草市	倉岳町えびすビーチ
沖縄県	宮古島市	伊良部町カントリーパーク

平成12年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	たきかわスカイパーク ★H27大賞
岩手県	盛岡市	仙北西部地区自転車歩行者道ネットワーク みちくさ通り 外5路線
秋田県	湯沢市	道の駅おがち「小町の郷」
福島県	郡山市	せせらぎこみち
福島県	南会津町	前沢曲家集落
群馬県	高崎市	ハーブの泉
館山市	館山駅オレンジロード、西口	なぎさ広場、夕映え通り
東京都	大田区	蒲田駅東口(区役所前本通り)
東京都	足立区・葛飾区	古隅田川緑道
東京都	葛飾区	水と緑と歴史のフィールド

神奈川県	川崎市	ミュージアム「曳舟川親水公園」
		加瀬ふれあいの広場(緊急避難場所)
新潟県	十日町市	神明水辺公園
富山県	南砺市	桜並木の城端神明通り
石川県	加賀市	北前船の里づくり「橋立町」
福井県	若狭町	若狭鯖街道 熊川宿

長野県	飯田市	りんご並木
愛知県	名古屋市	ランの館
滋賀県	近江八幡市	安らぎのある農の里 耕遊庵
兵庫県	神戸市	野田北部の小径
兵庫県	朝来市	あさご芸術の森
島根県	奥出雲町	斐伊川わくわくプール
島根県	出雲市	海辺の交流舞台「キララ多伎」
島根県	吉賀町	安蔵寺山麓ゴギの郷
岡山県	矢掛町	ふれあいこみち
山口県	美祿市	ピオトープのある川
徳島県	鳴門市	撫養川ふるさとプロムナード
福岡県	宮若市	大鳴川河川公園
長崎県	島原市	中央公園
大分県	大分市	七瀬川自然公園
鹿児島県	三島村	俊寛堂公園

平成13年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	北竜町	ひまわりの里
北海道	苫前町	夕陽ヶ丘ウインドファーム・風来望
宮城県	登米市	大豊沢深流公園
福島県	郡山市	南川渓谷
埼玉県	富士見市	難波田城公園
東京都	港区	新芝浦河沿緑地
東京都	葛飾区	葛飾あらかわ水辺公園
富山県	立山町	前沢中央公園
長野県	松本市	縄手通り
愛知県	犬山市	犬山城下町地区(どんでん館、大本町通り) ★H22大賞
滋賀県	近江八幡市	清流と石工の里づくり
京都府	舞鶴市	市道追手柑屋町線
京都府	向日市	竹の経 ★H27大賞
大阪府	枚方市	枚方宿鍵屋資料館
島根県	松江市	ウォーキング・トレイル「はにわロード」
岡山県	倉敷市	川辺ふるさとピオトープ
香川県	東かがわ市	とらまる公園
愛媛県	西予市	茅葺き民家交流館(土居家)
長崎県	島原市	青い理髪館
沖縄県	宮古島市	うえのドイツ文化村(村営住宅)

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	北見市	香りゃんせ公園
岩手県	一関市	吸川・自然豊かなせせらぎを再び
福島県	玉川村	玉川村花いっぱい運動
神奈川県	横浜市	ホタルの里水辺愛護会
神奈川県	川崎市	飛森谷戸の自然を守る会 ★H26大賞
新潟県	長岡市	表町の雁木づくり ★H20大賞

兵庫県	尼崎市	築地地区復興委員会
広島県	尾道市	瀬戸内しまなみ大学
大分県	佐伯市	マリンシアターinまるいちび

平成14年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	置戸町	置戸町街並み整備事業
青森県	むつ市	大畑川多自然型川づくり
神奈川県	横浜市	日本大通
神奈川県	平塚市	まといさんぼみち
富山県	富山市	今町地区急傾斜地
愛知県	豊田市	若宮・西町緑陰歩道
滋賀県	大津市	柳が崎湖畔公園（びわ湖大津館）
兵庫県	多可町	JR鍛冶屋線中村町駅跡「あかね坂公園」
山口県	萩市	市役所前中央分離帯整備
山口県	萩市	見島ゆりや湖
徳島県	吉野川市	水辺の楽校（山川パンパーパーク）
香川県	善通寺市	善通寺地区まちづくり総合支援事業
愛媛県	西予市	野村町農業公園・ほわいとファーム
高知県	橋原町	神幸橋
福岡県	北九州市	金山川

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	蘭越町	三和地区緑を守る会
宮城県	白石市	蔵王のブナと水を守る会
秋田県	由利本荘市	癒しの川づくり
福島県	会津若松市	通りの資源を活かした『大正浪漫調』のまちづくり
茨城県	下妻市	花と1万人の会「ちょっと素敵な村づくり」 ★H21大賞
山梨県	北杜市	オオムラサキの里づくり ★H26大賞
長野県	下條村	下條ふるさとうまい会
岐阜県	七宗町	住民参画による道路計画案づくり
静岡県	浜松市	佐鳴湖里山保全・復元活動
滋賀県	近江八幡市	四季の花咲く大樹の里
香川県	さぬき市	鴨部川アジサイ夢ロードづくり

平成15年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	由仁町	ゆにガーデン
北海道	洞爺湖町	有珠山西山火口散策路
宮城県	富谷町	富谷町役場（新庁舎）
山形県	尾花沢市	銀山温泉湯のまちづくり
栃木県	栃木市	とちぎ蔵の街美術館
神奈川県	横浜市	梅田川・杉沢堰周辺の水辺環境整備
神奈川県	川崎市	江川せせらぎ遊歩道
石川県	輪島市	道の駅・輪島
兵庫県	朝来市	生野まちづくり工房井筒屋
広島県	三原市	すなみ海浜公園
香川県	高松市	内場川水と緑豊かな溪流砂防

香川県	観音寺市	豊浜港一の宮地区海岸環境整備事業
高知県	香南市	ヤ・シパーク

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	余市町	リタロードを守る会
北海道	むかわ町	ネイチャー研究会inむかわ
山形県	山形市	ヤマガタ蔵プロジェクト“オビハチ”
東京都	港区	東京ベイ・クリーンアップ大作戦
神奈川県	秦野市	丹沢山麓の伝統的景観保全・復元活動
岐阜県	多治見市	地域連携による「笠原の森」づくり
愛知県	豊田市	地域が育てるバスーふれあいバス運営活動ー
滋賀県	高島市	美しいマキノ・桜森の会
愛媛県	今治市	瀬戸内しまなみ海道スライダーマーチ
福岡県	北九州市	紫川周辺賑わいづくり「遊びにおいてよ紫川!!」

平成16年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
岩手県	奥州市	「蔵のある街づくり」中町地区
東京都	北区	赤羽東口京浜通り商店街地区の景観づくりにともなう道路整備
静岡県	熱海市	熱海市海岸環境整備事業
広島県	広島市	横川駅前広場
広島県	東広島市	水と緑が迎える街 東広島駅前地区
大分県	豊後高田市	豊後高田昭和の町並み ★H23大賞

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	小樽市	小樽雪あかりの道
北海道	北見市	オホーツクの自然を生かした、子供達の自然体験活動
北海道	黒松内町	黒松内ぶなの森自然学校
山形県	鶴岡市・西川町	古の道「六十里越街道」で地づくり
茨城県	日立市	助川山市民の森 ドングリの森づくり
東京都	港区・品川区	運河を美しくする会
滋賀県	東近江市	「遊林会」から広がる里山の新たな役割
岡山県	岡山市	表町おかみさん会による中心市街地活性化の取り組み
山口県	下関市	「海峡花通り」下関花いっぱい計画
愛媛県	大洲市	やすらぎの水辺づくり
福岡県	北九州市	市民参加の川づくり「撥川ルネッサンス計画」

平成17年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	旭川市旭山動物園
山形県	上山市	武家屋敷通り整備事業
東京都	江戸川区	一之江ひだまり公園
静岡県	三島市	三島市街中がせせらぎ事業 ★H23大賞
愛知県	岡崎市	新しい公園づくりのカタチ「なのはな公園」
山口県	宇部市	中央町三丁目地区まちなか再生事業
山口県	萩市	萩博物館
大分県	日田市	親水施設 台霧の瀬

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	二セコ町	二セコ花フェスタ綺羅街道
福島県	南会津町	花の御宿の里づくり
茨城県	日立市	住民発案による公園の管理と希少淡水魚「イトヨ」の保護
千葉県	長生村	美しい水辺の回廊づくり
岐阜県	中津川市	住民総出の花づくり
愛知県	新城市	「やすらぎの心」が通う 四季のまち」づくり活動
大阪府	寝屋川市	1級河川寝屋川の再生と市民活動・まちづくり
山口県	山口市	地域通貨「フシノ」を活用した流域連携づくり
徳島県	徳島市	川を活かした魅力的なまちづくりを目指して ★H25大賞
徳島県	阿南市	阿南光のまちづくり事業
福岡県	福岡市	博多湾にみんなで夢の松原を！ ★H27大賞
熊本県	西原村	道路清掃による村づくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	洞爺湖町	湖畔通り
北海道	京極町	ふきだし公園
青森県	黒石市	こみせ
秋田県	仙北市	武家屋敷
山形県	上山市	榎下宿
福島県	下郷町	大内宿
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並
栃木県	足利市	足利学校・ばんな寺参道のまちなみ修景
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道
千葉県	香取市	小野川周辺の町並
東京都	足立区	防災路地緑化
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園
東京都	府中市	府中市郷土の森
東京都	国分寺市	お鷹の道遊歩道
神奈川県	横浜市	ライトアップ・ヨコハマ
神奈川県	川崎市	ニヶ領用水（宿河原線）
神奈川県	秦野市	水無川緑地
長野県	塩尻市	奈良井宿の家並み
新潟県	上越市	高田の雁木
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り
愛知県	豊田市	塩の道・三州足助の町並み
三重県	亀山市	東海道関宿の町並み
滋賀県	長浜市	ながはま御坊表参道



滋賀県	近江八幡市	八幡堀
滋賀県	東近江市	五個荘町金堂
滋賀県	高月町	雨森
兵庫県	神戸市	北野町山本通
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並
島根県	津和野町	藩政時代の街並
岡山県	岡山市	西川緑道公園
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並
広島県	廿日市市	宮島紅葉谷川庭園砂防
山口県	山口市	一の坂川ホテル護岸
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並
大分県	竹田市	殿町武家屋敷通り
宮崎県	日向市	美々津の歴史の街並
沖縄県	竹富町	竹富町家並

平成18年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
秋田県	小坂町	明治百年通り
茨城県	日立市	市民・行政協働の手づくりピ オトープ赤羽緑地 ★H24大賞
岐阜県	岐阜市	長良川右岸河畔道路
静岡県	浜松市	よみがえり！みんなの豊田川
三重県	多気町	高校生のレストラン「まごの 店」 ★H26大賞
京都府	舞鶴市	海舞鶴線遊歩道整備
香川県	多度津町	多度津町再生水利用計画事業

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	函館市	市民創作「函館野外劇」
北海道	稚内市	Wakkanaiみなとコンサート
埼玉県	新座市	木もれ日がさす美しい雑木林 を目指して
東京都	港区	お台場の自然環境を活かした 環境教育活動
神奈川県	川崎市	多摩川エコミュージアムプラ ンの推進
長野県	長野市	松代文化財ボランティアの会 の活動
静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画 ★H27大賞
愛知県	名古屋市	都会の中の里山環境再生と市 民活動
大阪府	大阪市	南港生きもの育て隊アオサ取り ★H22大賞
鳥取県	鳥取市	鹿野祭りの似合う街づくり ★H22大賞
徳島県	吉野川市	美郷の「宝」を継承！
徳島県	東みよし町	ぶぶるパークみかも サア ～！やらんで町おこし
長崎県	五島市	島民手づくり展望台
大分県	大分市	“かんとん”みなとまちづくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	沼田町	ほたるの里
岩手県	盛岡市	御所湖広域公園
東京都	日野市	黒川清流公園
島根県	大田市	石見銀山御料・大森の町並み
広島県	安芸高田市	土師ダムスポーツランド
山口県	柳井市	白壁の町並み

愛媛県	内子町	木幡と白壁の町並み
愛媛県	西予市	野村ダム公園
高知県	高知市	春野町アジサイ街道

平成19年度

地域整備部門

都道府県	市区町村	件名
福島県	桑折町	奥州街道・羽州街道 追分
東京都	稲城市	上谷戸親水公園
東京都	町田市	町田市公共下水道本町田2号 雨水幹線
兵庫県	養父市	道の駅ようか 但馬蔵
島根県	津和野町	本町・祇園丁通石畳通り
愛媛県	松山市	松山ロープウェー街
福岡県	太宰府市	国博通り

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	室蘭市	文化も発信できる港まちづくり
茨城県	行方市	霞ヶ湖沿岸保全および環境美 化活動
新潟県	村上市	黒塚プロジェクト ★H25大賞
静岡県	静岡市	大道芸ワールドカップin静岡
福井県	南越前町	アカタン砂防歴史遺産利活用
大阪府	和泉市	ひつじのいる河川敷が生み出 す地域コミュニティー
兵庫県	赤穂市	あこう絵マップコンクール
兵庫県	篠山市	丹波ゆかりの赤米栽培を通し た公園づくり
福岡県	北九州市	門司港レトロ地区の観光振 興・地域活性化

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	岩見沢市	利根別川千本桜並木道
岩手県	盛岡市	材木町コミュニティ道路
岩手県	洋野町	大野村産業デザインセンター
群馬県	みなかみ町	旧三国街道須川宿堰
山梨県	甲斐市	信玄堤
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並
愛知県	常滑市	やきもの散歩道内土管坂
広島県	広島市	並木通り
広島県	尾道市	島ごと美術館
愛媛県	西条市	アクアトピア（西条市公共下 水道雨水観音水幹線）
宮崎県	宮崎市	後田川緑道

平成20年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	足寄町	あなたの足跡残します
宮城県	東松島市	「野蒜築港跡」を活用した地 域活動
東京都	世田谷区	地域で創る、花いっぱい、ト ンボの飛び交う憩いの公園
東京都	調布市三軒	都立井の頭恩賜公園（開園 100周年に向けての取組み）
長野県	上田市	別所温泉大湯地区ふれあい ロード
静岡県	浜松市	流域のみんで洪水防止 安 岡川水辺再生まちづくり

愛知県	名古屋市	なごや東山の森づくり
兵庫県	神戸市	湊川隧道保存友の会
兵庫県	神戸市	獅子ヶ池周辺里山整備・保全 事業
兵庫県	宝塚市	中山台コミュニティ美しい自 然のなかでの暮らし
広島県	広島市	可部駅西口広場の整備をきっ かけとしたまちづくり
愛媛県	愛南町	トレッキング・ザ・空海あい なん
福岡県	北九州市	板櫃川水辺の楽校

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
新潟県	長岡市	表町の小さな試み
長野県	飯田市	りんご並木

平成21年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	世代と世代をつなぐ架け橋 「旭橋」
北海道	紋別市	国登録有形文化財旧上藻別駅 通所
福島県	福島市	歴史といで湯の“いいざか温 泉”まちづくり活動
東京都	調布市	22世紀の都市の森づくり
新潟県	長岡市	山古志「花々とともに進む心 の復興」
新潟県	長岡市	小さなムラにある大きな希望 回船問屋群のある街並み 富 山市岩瀬のまちづくり
長野県	飯山市	葉の花による地域活性化（葉 の花公園周辺）
長野県	阿南町	祭り街道と自然保護
静岡県	浜松市	希少種の保全と里山の復元を 通じて自然と人間の共生を目 指す
滋賀県	高島市	未来へつなぐ清水と緑の郷づ くり
奈良県	生駒市	人にやさしい良好な住環境の 創生に向けて
広島県	尾道市	尾道みなとまちづくり
徳島県	小松島市	みなとオアシス交流広場
香川県	高松市	むれ源平石あかりロード
福岡県	大野城市	どんぼの森公園
大分県	日田市	「水郷ひた」観光に寄与した花 月川の川づくり（千年あかり） ★H27大賞

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
茨城県	下妻市	花と1万人の会「ちょっと素 敵なまちづくり」
鳥取県	境港市	水木しげるロード

平成22年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	北広島市	支えあいの地域づくり
北海道	木古内町	咸臨丸の眠るサラキ岬の交流



宮城県	仙台市	観光拠点づくり
東京都	町田市	将監沼の自然とふれあいを育む大戸源流で森づくり（都民協働で公園予定地を活性化！）
神奈川県	平塚市	馬入・光と風の花づつみ
長野県	上田市	北国街道柳町 街並みを生かしたまちづくり
新潟県	十日町	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ ★H27大賞
新潟県	上越市	越後高田町家三昧（高田の町家を活かしたまちづくり）
新潟県	佐渡市	宿根木観光ボランティア部（地元の良さを中学生が伝える活動）
岐阜県	恵那市	空芯菜の水耕栽培を利用した地域活性化に向けた取組
岐阜県	揖斐川町	歴史ある門前町谷汲の再生を目指して
愛知県	西尾市	住民みんなであつった公園「つるしるふれんどばーく」
三重県	伊勢市	伊勢河崎のまちづくり 町並みと川を生かしたまちづくり
京都府	宮津市	大手川河川改修事業に伴う魅力的な市街地の再生
大阪府	吹田市	歴史的旧民家の再生及び地域活動拠点としての利活用
大阪府	柏原市	桜の龍田古道の復活
奈良県	高取町	高取土佐街道 町家の雛めぐり
島根県	松江市	穴道湖夕日スポット
愛媛県	新居浜市	道から始める「新しい公共」のまちづくり
佐賀県	白石町	40年ぶりに復活した釜ノ池湧水の保全と地域づくり
熊本県	天草市	ホテルの里づくり（ホテルの里できちめく☆城河原☆）
沖縄県	本部町	備瀬のフクギ並木

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
愛知県	犬山市	大山城下町地区のまちづくり
大阪府	大阪市	南港生きもの育て隊 アオサ取り
鳥取県	鳥取市	鹿野祭りの似合う街づくり

平成23年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	えりも町	えりもの地域資源の掘りおこしと活用～猿留山道を中心に～
栃木県	那須町	災害復旧後の河川敷及び堤防を利用した地域活性化事業
東京都	江戸川区	野の川の再生「清流よ永遠なれ」
神奈川県	横浜市	流域学習・流域防災拠点を目指す鶴見川駒岡河川敷
新潟県	三条市	三条市民と大学の協働による小さな里山づくり
新潟県	南魚沼市	三国街道塩沢宿 牧之通り（雪国の歴史と文化のまちづくり）
岐阜県	御嵩町	中山道「御嶽宿」景観修景プロ

愛知県	春日井市	ジェクト～賑わいと誇りの持てるまちづくりをめざして～市民が創る緑の街道愛岐トンネル～廃線トンネル再生中～
山口県	岩国町	蘇った歴史の道 岩国往来
愛媛県	西条市	「水」と「芸術文化」でまちづくりと人づくり
大分県	中津市	山国川発中津干潟 水でつながる自然と文化と私たち
宮崎県	日南市	堀川運河の歴史と伝統を活かしたまちづくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
静岡県	三島市	ガーデンシティみしまプロジェクト
福井県	若狭町	若狭鯖街道熊川宿
広島県	東広島市	酒蔵のあるまち並み
大分県	豊後高田市	豊後高田昭和の町

平成24年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	上士幌町	旧国鉄士幌線の文化遺産を活用したまちづくり
秋田県	大館市	釈迦内上中通り「親水公園」（泥沼再生）
千葉県	柏市	「市民で育てる100年の森」・ごんぶくろ池公園
東京都	江戸川区	地域で育てよう桜の文化～日本一の桜名所づくり～
長野県	安曇野市	三角島ふるさとの森プロジェクト～水と緑の市民の森をめざして～
岐阜県	各務原市	中山道鶏沼宿～人と人とのつながりをめざして～
静岡県	御前崎市	地域資源の再利用で環境美化
愛知県	清須市	庄内川の水辺環境を活かした官民協働のまちづくり
三重県	名張市	季節を彩るおもてなしを～名張市旧細川邸「やなせ宿」の取組～
徳島県	徳島市	万代中央ふ頭（水辺のコミュニティスペース）
香川県	東かがわ市	讃州井筒屋敷を拠点とした歴史ある引田まち並み
高知県	梶原町	匠が巧みに未来を拓く～住民主導のまちづくり～
長崎県	島原市	噴火災害からの復興「安中・夢計画」
宮崎県	都城市	森づくりから風土づくりへ大淀川流域住民プロジェクト
鹿児島県	姪良市	豊かな風土を後世へ（錦江湾重富干潟）
沖縄県	沖縄市	災害を乗り越え、地域コミュニティ活動の 拠点となった歴史と伝統の越来城水辺公園

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
茨城県	日立市	人と自然が共存したピオトープ赤羽緑地

広島県	竹原市	歴史と文化が薫る町並み
-----	-----	-------------

平成25年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	美瑛川さと川づくり～未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」をつくらう～
山形県	鶴岡市	商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり～デイバザール、ナイトバザール、夢やたい
栃木県	日光市	「足尾の山に100万本の木を植えよう！」官民連携による緑化活動
埼玉県	幸手市	遺そう我々の郷土を！伝えよう100年後の子ども達へ！
新潟県	長岡市	「越後みしま竹あかり街道」
長野県	駒ヶ根市	天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」
三重県	伊勢市	舟参宮の再興 いにしへの川みなどに賑わいをつくる
和歌山県	和歌山市	「水軒堤防の再生」と「市民の公園の実現」
奈良県	五條市	四百年の歴史に磨かれた町なみ
奈良県	大和郡山市	古道「七曲道」の整備
島根県	出雲市	甞った出雲大社の門前町～神門通り～
島根県	江津市	石川赤瓦と歴史を活かしたまちづくり
愛媛県	松山市	復活松原泉～住民の熱い思いで松原泉・小川を再生～
大分県	中津市	耶馬溪の自然と景観を守る
鹿児島県	さつま町	大水害からの復興（地域の願いを込めて）
鹿児島県	さつま町	光に満ちたまちづくり（ホテルとともに）
沖縄県	中城村	古道ハンタ道（歴史の道）と世界遺産。郷土を愛し地域をおこすサークル活動

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
新潟県	村上市	黒堀プロジェクト（黒堀一枚1000円運動と緑一口1000円運動による市民パワーのまちづくり）
徳島県	徳島市	かわ普請～ひょうたん島・青石護岸再生作戦～
宮崎県	日南市	賑わいを今に～飢肥城下町の取り組み～

平成26年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	榎山郡江町	再現！江差の五月は江戸にもない～“いにしえ街道”の景観を生かすまちづくり～
福島県	昭和村	室町時代からの伝統技術「からむし生産」伝承とからむし織姫



東京都	北区	北区・子どもの水辺
東京都	江戸川区	東京湾海水浴場復活プロジェクトー東京都区内で約50年ぶりに海水浴場が復活ー
愛知県	名古屋市	中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出)
愛知県	豊橋市	豊橋の路面電車(愛称「市電」)を活かしたまちづくり
三重県	伊勢市	宮川流域エコミュージアム
三重県	多気町	
三重県	明和町	
三重県	大台町	
三重県	玉城町	
三重県	度会町	
三重県	大紀町	
滋賀県	高島市	安曇川河畔の竹林の保全をエコツアーにした取り組み
大阪府	大阪市	ストリートライブ能で美しいまちづくりと地域の賑わいづくり
岡山県	岡山市	庭園都市おかやま 緑と水の道づくり
愛媛県	今治市	しまなみ海道を活かした自転車まちづくりプロジェクト～地元根ざした、持続可能な地域おこし～
高知県	四万十市	四万十川と共存するツルの里づくり事業
佐賀県	唐津市	いのち育む豊かな湿地
長崎県	島原市	芝桜による噴火災害からの復興
熊本県	山鹿市	川と街道の歴史を元に先祖伝来！手づくりの地域興し(下町惣門会)

滋賀県	東近江市	り組み 東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷掘り抜き」を後世に…～
京都府	長岡京市	商店街から発信する住民主体のシティプロモーションモデル
福井県	大野市	桜が教えてくれたカタクリで地域づくり
鳥取県	琴浦町	鳴り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト
山口県	下関市	協働による花と歴史と安らぎの郷づくり～街道が蘇れば人も地域も元気になる～
佐賀県	鹿島市	酒蔵とともに歩むまちづくり
長崎県	西海市	道路美化活動から始まった地域おこし～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった！～

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	“空の波打ち際”の創造～大空に一番近いまちづくり～
東京都	江戸川区	葛西親水四季の道
新潟県	十日町市	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ
静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画
京都府	向日市	竹の径・かぐやの夕べ
福岡県	福岡市	エコシティ福岡をめざして「水と緑とまちづくり」
大分県	日田市	市民の手づくりによる賑わいの創出～水郷ひた豆田地区(千年あかり)～

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
神奈川県	川崎市	飛森谷戸～里「都」山づくりを楽しもう～
山梨県	北杜市	オオムラサキの里づくり
石川県	輪島市	道の駅 千枚田ポケットパーク
三重県	多気町	高校生レストラン「まごの店」

平成27年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	網走郡美幌町	皆でつくろう！手作り魚道ー魚がのぼり、笑顔ひろがるー
北海道	斜里郡斜里町	流水を活かすオホーツク流儀のおもてなし活動
秋田県	仙北市	癒しの溪流づくり～生保内川の自然と防災～
山形県	長井市	最上川フットパス～かわからまちへ、まちからかわへ～
茨城県	筑西市	鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！～お花畑から広がるつながりの輪～
東京都	小平市	花と緑と笑顔にあふれる街づくり～こだいらグリーンロード～
石川県	七尾市	和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり
岐阜県	郡上市	清流長良川漁場の再生への取



精選
ふるさと
手づくり郷土賞



手づくり郷土賞 検索

手づくり郷土賞ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

お問い合わせ先

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2丁目1番3号
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課
TEL 03-5253-8111